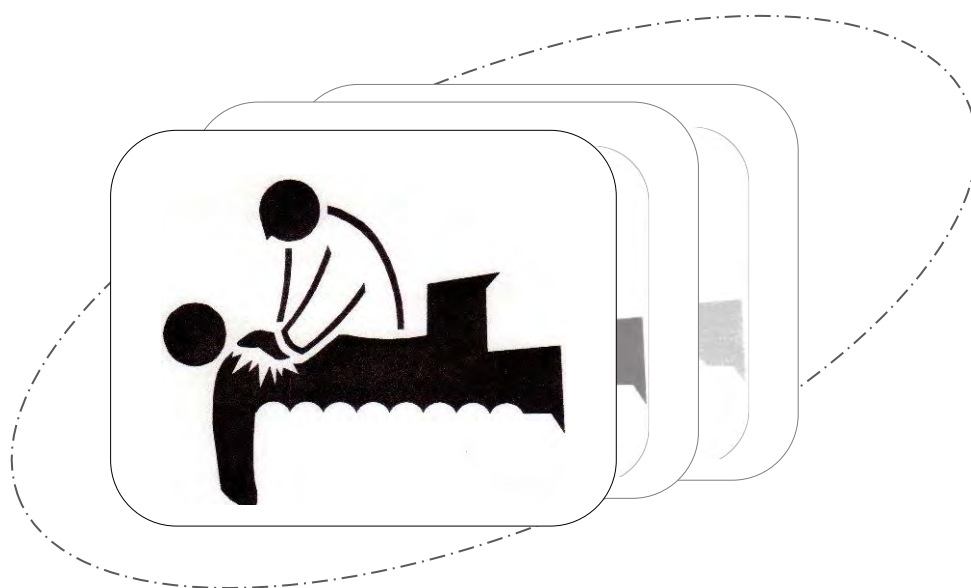


外国人のための無料健康相談と検診会

Free Health Consultation and Check-ups
Consulta Gratuita Sobre a Saude Atendimento
Medico
Consulta Gratuita Sobre Saiudy Atencion Mediea

第 18 回 報告集

日時：2015 年 11 月 15 日（日）10：00～14：00
会場：静岡済生会総合病院（静岡市駿河区小鹿 1-1-1）



外国人のための無料健康相談と検診会 実行委員会

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A
TEL 054-209-5682 FAX 054-209-5675

目 次

巻頭言 第18回外国人のための無料健康相談と検診会を終えて	1
実行委員会代表 榎本 信 雄	
特別寄稿 生活困窮者と済生会	2
静岡済生会総合病院 事務部長 杉原 孝 幸	
第18回外国人のための無料健康相談と検診会の企画内容	3
2015年度 実行委員会活動報告	5
「外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会」規約	6
検診結果報告 前野 真由美 前野 竜太郎 榎本 信 雄 北 島 和 子	8
山田 隆之 岩崎 圭介 壺阪 道也	
検診会受診者アンケート集計結果 前野 真由美 海野 有美子	18
池田 聡子	
過去のアンケート集計一覧 山田 隆之	21
検診会 寄稿文	
■ 医療ボランティア	
静岡県立総合病院 総合診療センター長 袴田 康 弘	25
城北すぎやま整形外科 杉山 晴 敏	26
静岡県立こころの医療センター 村上 直 人	27
静岡市駿河区役所保険年金課 梶山 倫 裕	28
静岡済生会総合病院 医療ソーシャルワーカー 大塚 久 実	29
静岡済生会総合病院 診療放射線技師 西野 真 弓	30
静岡済生会総合病院 臨床検査科 田島 正 明	31
静岡県立大学看護学部4年 原 華 代	32
静岡県立大学看護学部2年 鈴木 静 恵	33
静岡県立大学看護学部2年 馬 渕 涼 子	34
静岡県立大学看護学部1年 星 野 真 実	35
静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科 教員 中野 恵美子	36
藤枝市立総合病院 看護師 橋本 圭 子	37
看護師 大西つたえ	38
■ 通訳ボランティア	
ポルトガル語 永岡 繁	39
ポルトガル語 ホリウチ・アリッヒ	40
■ 一般ボランティア	
ヒッポファミリークラブ 原 真 衣	41
医療チームの実施後の意見 北 島 和 子	42
今年度を振り返って 松谷 清	43
実行委員会事務局次長	
編集後記 山田 隆之	44
実行委員会副代表（編集担当）	
資料 新聞記事	45
資料 ポスター 検診会案内書・申込書 チャリティー	46
資料 外国人医療を考える会ワークショップ	53
収支決算見込み（2015） 収支決算（2014）	54

巻頭言

第 18 回 外国人のための無料健康相談と検診会を終えて

外国人のための無料健康相談と検診会

実行委員会代表 榎本 信雄

第 18 回目となる外国人のための無料健康相談と検診会が平成 27 年 11 月 15 日(日)静岡済生会総合病院で行われた。

この 2 日前にフランス、パリ市で 120 名以上におよぶ犠牲者を出したテロ事件がおき、改めて民族、宗教、文化の違いとその将来を考えさせられることになった。

我々の検診会も 18 回目を迎えマンネリ化を警戒するとともに、そのやり方がかなり定まってきたように感じる。

月 1 回の実行委員会を定期的に行い、8 月末には英和女学院の礼拝堂をお借りして英和女学院学生のハンドベルと静岡大学吹奏楽団の協力によるチャリティーコンサートを、検診会運営資金捻出のために行っている。

検診会の方は、今年も前年と同じように 72 名の受診者と 100 数十名のボランティアの参加があった。

ボランティアの皆様方に感謝申し上げるとともに会場を提供して下さり、多大なる援助をしていただいている静岡済生会病院の皆様方にお礼を申し上げます。

これからも日本で暮らす外国人の方々が日本人と同じような生活ができるように地道な活動を続けていきたいと思っています。

生活困窮者と済生会

静岡済生会総合病院

事務部長 杉原 孝幸

今年も 11 月 15 日（日）に、外国人のための無料健康相談と検診会が開催されました。医療関係者、通訳者、その他一般のボランティアのどの方達も欠かせない存在であり、長年に亘って実行委員会の皆様の尽力によってこの会が行われていることは素晴らしいことです。

今回が 18 回目ということですが、一昨年からは静岡済生会総合病院を会場としていただいています。当院がこの会を手伝わせていただくのは社会福祉法人^{恩賜財団}済生会の使命に基づくものですので、紙面をお借りし本会の成り立ちと現況について紹介させていただきます。

明治 44 年 2 月 11 日、明治天皇は、時の総理大臣である桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金 150 万円を下賜されました。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年 5 月 30 日に^{恩賜財団}済生会を創立しました。以来今日まで 104 年、社会経済情勢の変化に伴って幾多の変遷を経ながらも、本会は「施薬救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできました。静岡県においては、昭和 5 年に浜松に診療所を開設しましたが戦災により焼失。昭和 23 年に、三菱重工静岡工場の診療所を県が買収し、現在地に「静岡厚生寮済生会病院」を開設しました。これが当院の始まりです。その後、済生会は昭和 26 年に公的医療機関の指定、同 27 年に社会福祉法人の認可を受けています。現在では全国で 79 病院のほか福祉施設等を 300 施設運営しており、職員約 5 万 8 千人を擁する、日本最大の医療・福祉団体です。

第二種社会福祉事業に規定されている「生計困難者のために、無料又は低額な料金で診療を行う事業」を行うほか、平成 22 年度からは生活困窮者支援事業（通称：なでしこプラン）を本会全体で実施しています。事業の対象は、従来の生活困窮者の枠に留まらず、ホームレス、スラム街の居住者、刑務所からの出所者、DV 被害者、在留外国人の生活困窮者全般としており、この無料検診会へ協力することも、なでしこプランの一事業と位置付けています。また、平成 26 年度からは当院と神奈川県各済生会病院と共催で横浜市寿町での無料検診会を実施しており、全国では計 310 事業のなでしこプランが展開されています。

「ネットカフェ難民」、「子どもの貧困」、「下流老人」など、残念なことに生活困窮の実感は拡がりを見せています。今日でも、お困りの方々を支援していくのが本会の使命です。済生会の事業にご意見・ご提案がございましたら、ぜひお知らせください。

第 18 回外国人のための無料健康相談と検診会の企画内容

【目 的】

健康保険がない、言葉が通じないなど種々の事情により、日本人と同等の医療サービスを受けることができない外国人とその家族に、自ら健康をチェックする機会を提供します。

まず一次検診によるスクリーニングを行い、二次検診へとつなぐ機会となるように働きかけていきます。究極的にはこのような検診会が必要なくなることを理想とし、外国人への健康保険加入必要性の啓蒙、医療通訳制度の確立なども視野に入れた活動です。

【実 績】

実 施 日	回数	会 場	受診者国籍 (ヶ国)	受診者数 (人)	ボランティア (人)
1998/4/19	1	静岡県総合福祉会館	19	129	210
1999/10/17	2	静岡市福祉センター	15	94	145
2000/10/29	3	静岡市救急センター	16	91	148
2001/9/9	4	静岡厚生病院	13	96	130
2002/10/6	5	静岡厚生病院	12	97	116
2003/10/5	6	静岡厚生病院	12	109	142
2004/10/17	7	静岡厚生病院	13	106	133
2005/10/30	8	静岡厚生病院	14	125	150
2006/10/30	9	静岡厚生病院	13	96	139
2007/11/1	10	静岡厚生病院	13	97	130
2008/11/9	11	静岡厚生病院	13	134	142
2009/11/15	12	静岡厚生病院	14	96	129
2010/11/14	13	静岡厚生病院	9	47	105
2011/11/13	14	静岡厚生病院	9	37	125
2012/11/11	15	静岡厚生病院	11	74	99
2013/11/17	16	静岡済生会総合病院	11	54	103
2014/11/16	17	静岡済生会総合病院	16	92	117
2015/11/15	18	静岡済生会総合病院	17	72	112

【内 容】

毎年 4 月には「外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会」を立ち上げ、月に 1 度のペースで委員会を開催。会場のレイアウトや関係諸機関との調整、協力呼びかけ、医師・看護師・通訳・諸業務などボランティアの確保、このような検診会を必要としている外国人への広報・宣伝などを行っています。

1. 日時：2015 年 11 月 15 日（日）10：00～14：00

2. 場所：静岡済生会総合病院

3. 対象：静岡県中部に在住の外国人

4. 検査項目

基本科目 … 尿検査・身体測定・血圧・視力・聴力検査
血液検査

選択科目 … 内科・小児科・胸部レントゲン・整形外科・耳鼻科・歯科

婦人科・腰痛教室・医療相談・心の相談・保険相談・栄養相談

5. 検査費：無料

但し通信費として受診者 1 名につき 200 円（事前申込みが無い場合は 500 円）を徴収させていただきます。（2006 年度第 9 回検診会より通信費徴収を実施）

6. 募集

過去に受診した受診者へのダイレクトメール、外国人が集う場所へ申し込み用紙の配布、ホームページや Facebook などの SNS、外国語メディア、一般マスコミを通じて募集します。

検診会は原則予約制で、申し込み用紙を事前に送ってもらい、その後に受診番号の入ったハガキを「受診票」として受診者に送付します。

【予 算】

この検診会は、ボランティアによって運営されていますが、実費で 50～60 万円の経費がかかります。

財源は、寄附金、チャリティーコンサート収益、街頭募金、検診会などでのカンパ活動、CSR（企業の社会的責任）に関心のある企業からの広告掲載料等でまかないます。

【主 催】

外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会

2015 年の会場風景



2015 年度 実行委員会活動報告

	4/27(月)	第1回 申込書の修正。通知方法の検討。チャリティーコンサートは、6月14日のFAS総会までに、チラシ、チケットの完成を目指し、8月30日(日)英和礼拝堂での開催まで決定。広報については、外国人コミュニティーリーダーへの働きかけが重要。
	5/28(木)	第2回 今年度は、2015年11月15日(日)静岡済生会総合病院での開催。チャリティーコンサートの準備は6/14FAS総会までに。ボランティア参加確認はハガキを出す、メール等でも返事を。申込書は、保険証のコピー添付などの修正を今週中に完成させ、ホームページに掲載。検診結果報告で、対訳表などの作成。
	6/29(月)	第3回 チャリティーコンサートのチケット配布が始まっているが、まだ充分ではない。11月15日の検診会当日のボランティアは、まだほとんど未確定。第18回の申込用紙・ポスターが出来上がった。
	8/4(火)	第4回 チャリティーコンサートは、人手がたくさんいる。チケットの販売状況は、不透明。目標は300。当日の詳細は、次回FAS8月18日(火)でつめる。ボランティアの参加状況すこぶる悪い。医療、通訳、一般とも未だ全然確保されていない。受診者は、本日現在10名ほどの申込。広報が大事なので、宣伝活動を。検診会でのアンケート実施依頼あり前向きに検討する。
	8/30(日)	チャリティーコンサート 於 英和女学院(中学校・高等学校)礼拝堂。200名程度の参加。チケットの売り上げは30万円以上。
	9/15(火)	第5回 チャリティーコンサートは、純売上が32~33万円、経費を引いた利益が22~23万円、繰越金やその他収入込みで、何とか今年もできそう。ボランティア体制は、未だ不充分。医療、通訳(どんな言語が必要かが不透明)は未だ、確保されていない。一般はほとんどいない状況。検診者申込は現在21名。10月18日(日)11時半から、八幡修道院で、国際交流パーティー。
	10/24(水)	第6回 医療・通訳・一般ボランティア体制について、未だ随時募集中。英語ボランティア不足。検診者申し込み状況は47名+?で、70人台まで届くか。南米系が減って、アジア系が増えている。11月8日(日)午前9時~地球ハウスにてカルテ作りなど準備作業。11月15日(日)検診会当日 静岡済生会病院8時集合準備作業、8時半頃~ボランティア受け付け開始、9時~ボランティア全体ミーティング、10時検診会開始。
	11/8(日)	開催直前作業。カルテ作成と必要物品の確認。
	11/15(日)	検診会(第18回)開催。受診者72名、ボランティア112名。
	12/10(木)	第7回 受診者72人、17カ国、ブラジル18、フィリピン14、中国12、ミャンマー7、バングラデシュ6、ベトナム3など。ボランティア112人。検診結果については、検診者の住所登録も前回よりはスムーズで近々に発送できそう。報告集の原稿の集まりが、ここ数年の中では最悪。
二〇一六年	2/2(月)	第8回 結果を送付して、戻りが72名中1名で、住所登録が今までになく、成功した。受診者ブラジル18人、フィリピン14人、中国11人と、県内の外国人分布とよく似ていた。報告集は、原稿があと一歩。事務処理体制の未確立など課題がる。
	3/24(金) 開催予定	第9回 2016年度開催日時、会場等の検討。報告集の発行(完成)と配布。次年度へ向けての、実行委員会体制の確認。

「外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会」 規約

(名称)

第1条 本会は外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会という。

(所在地)

第2条 本会は事務所を次の所在地に置く。

静岡県葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A 地球ハウス

(目的)

第3条 本会は日本に居所を有する外国の人々が日本人と同様の医療サービスを受けることができる地域社会を実現することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は次の掲げる事業を行う。

- 1) 外国人を対象にした健康相談及び医療検診
- 2) 外国人の医療・相談に関する調査及び勉強会
- 3) 外国人に対する医療サービスに関する提言
- 4) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会は目的に賛同する個人、団体で本会に入会する意思表示をした会員をもって構成する。

- 2 会員は退会の意思表示をして退会することができる。

(全体会議)

第6条 本会は会計年度終了後3ヶ月以内に全体会議を開催するほか、必要に応じ全体会議を開催することができる。

- 2 全体会議は以下の事項を決議する。
 - 1) 規約で定めた事項
 - 2) その他本会の運営に関する必要な事項
- 3 全体会議は会員をもって構成されるが、参加の意思表示をした者も参加できる。
- 4 全体会議は代表がこれを招集する。
- 5 全体会議は出席した会員一人につき一議決権を与え、出席した会員の過半数の賛成により決定する。
- 6 本会の規約の改定及び本会の解散は出席した会員の4分の3以上の賛成による。
- 7 前項の議題を決する時は会議開催の2週間以上前に会員に議題を提示しなければならない。

(役員)

第7条 本会には2人以上の世話人を置く。

- 2 世話人は全体会議で選任する。
- 3 世話人の互選により代表1名を選任する。
- 4 世話人の互選により以下の役員を置くことができる。
副代表 若干名
事務局長 1名
会計 若干名
監査 若干名
- 5 役員の任期は1年とする。ただし再任を妨げない。

(職務)

第8条 世話人は日常の業務を運営し、事業を統括する。

- 2 代表は本会を代表する。
- 3 代表に事故ある時は世話人がその職務を代行する。
- 4 会務の運営に関する意思決定は世話人の過半数で決する。
- 5 緊急の場合は代表の承認により世話人が意思決定できるものとするが、事後に世話人過半数以上の承認を得るものとする。

(部会)

第9条 本会は全体会議の決定により部会を置くことができる。

- 2 部会の内容は全体会議で決める。

(会計)

第10条 本会の会計年度は暦年とする。

- 2 決算は会計年度終了後3ヶ月以内に全体会議の承認を得なければならない。

(資産)

第11条 本会の資産は、寄付・助成金・事業収入・その他の収入をもって構成する。

- 2 本会の資産は代表の統括のもと世話人が管理する。

第12条 1998年6月1日 設立する。

附則 2010年12月8日 改正

検診結果報告

前野真由美, 前野竜太郎, 榎本信雄, 北島和子,
山田隆之, 岩崎圭介, 壺阪道也

1. 分析したデータ

検診結果報告を次のデータを用いて作成した。①外国人検診問診票、②外国人検診会結果表と③健康診断結果報告書。

2. 受診者数（図1）

受診者は72人、性別は、男性22人、女性50人であった。事前申し込み者は65人、うち受診者は51人。申込みなしで受診した者は21人であった。

3. 受診者の国籍（表1）

受診者の国籍数は17カ国である。受診者の多い国籍から順に、ブラジル18人(25.0%)、フィリピン14人(19.4%)、中国11人(15.3%)、バングラデシュ7人(9.7%)、ミャンマー7人(9.7%)。

昨年(2014年)受診者の国籍数は16カ国。受診者の多い国籍から順に、中国(16.3%)、ブラジル(16.3%)、インドネシア(15.2%)、フィリピン(14.1%)、ベトナム(10.9%)。

静岡県企画広報部多文化共生課：2014年末、静岡県内在住外国人は、75,115人。全国8位。国籍は、多い順から、①ブラジル26,476人(35.2%)、②フィリピン13,335人(17.8%)、③中国11,577人(15.4%)、④韓国・朝鮮5,549人(7.4%)。男女別では、男35,755人(47.6%)、女39,360人(52.4%)。年齢別では、年少人口〈0~14歳〉9,603人(12.8%)、生産年齢人口〈15~64歳〉62,839人(83.7%)、老年人口〈65歳以上〉2,673人(3.6%)。

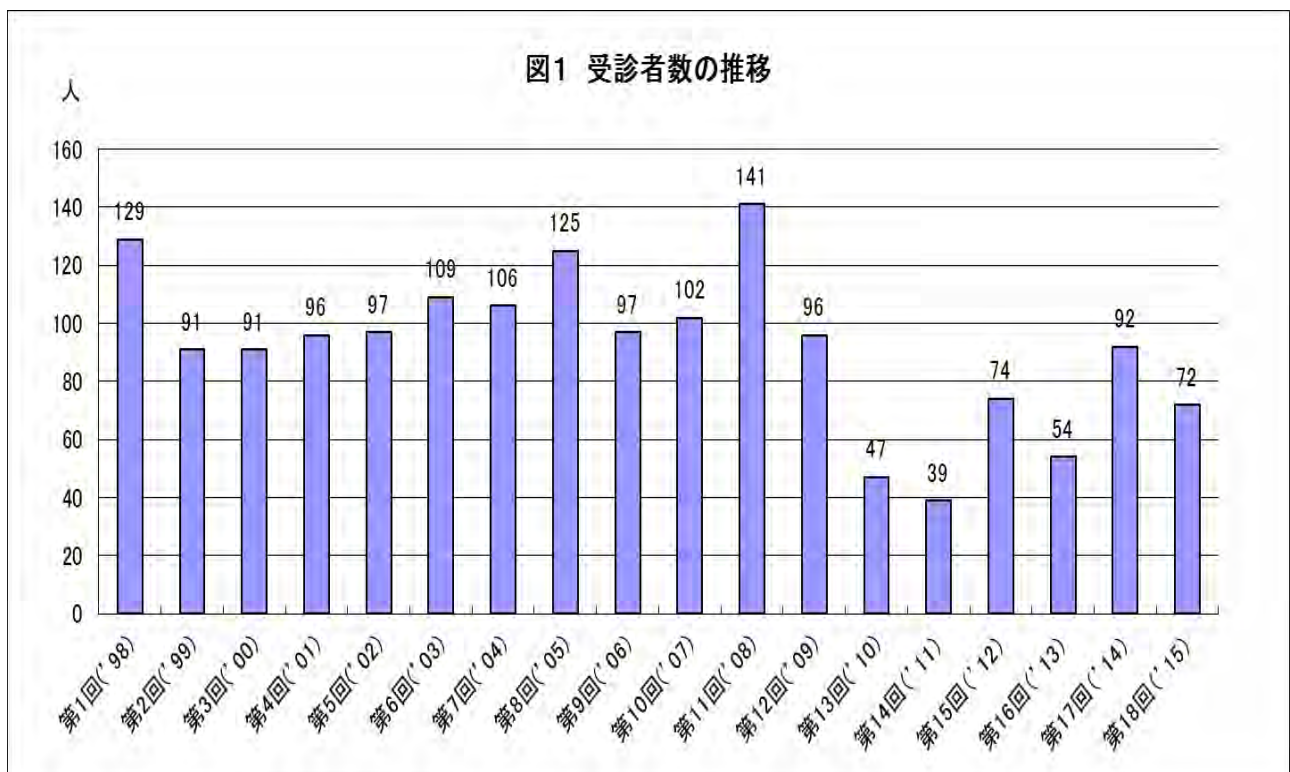


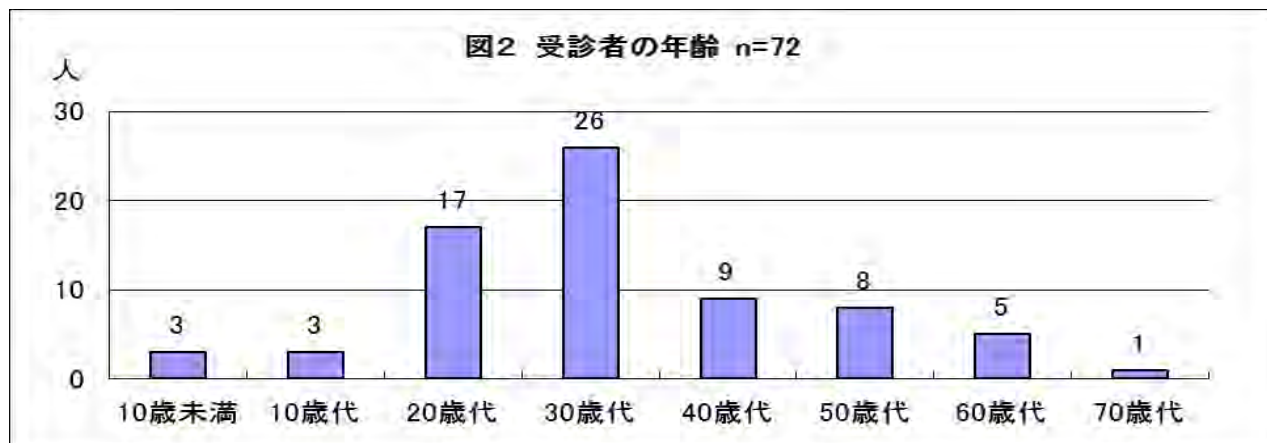
表1 受診者の国籍

	国籍	人	%
1	ブラジル	18	25.0
2	フィリピン	14	19.4
3	中国	11	15.3
4	バングラデシュ	7	9.7
5	ミャンマー	7	9.7
6	ベトナム	3	4.2
7	パラグアイ	2	2.8
8	台湾	1	1.4
9	タイ	1	1.4
10	ネパール	1	1.4
11	スリランカ	1	1.4
12	アメリカ	1	1.4
13	グアテマラ	1	1.4
14	ジャマイカ	1	1.4
15	ペルー	1	1.4
16	オーストラリア	1	1.4
17	イタリア	1	1.4
	計	72	100.0

4. 受診者の年齢（図2）

受診者の年齢は、2 歳から 70 歳まで、平均年齢 36.4（±14.59）歳である。年齢別にみると、多い順から、30 歳代 26 人（36.1%）、20 歳代が 17 人（23.6%）、40 歳代 9 人（12.5%）である。

昨年（2014 年）の受診者の年齢は、2 歳から 75 歳まで、平均年齢 36.6（±14.57）歳。年齢別にみると、多い順から、30 歳代（35.9%）、20 歳代（27.2%）、40 歳代（13.0%）。

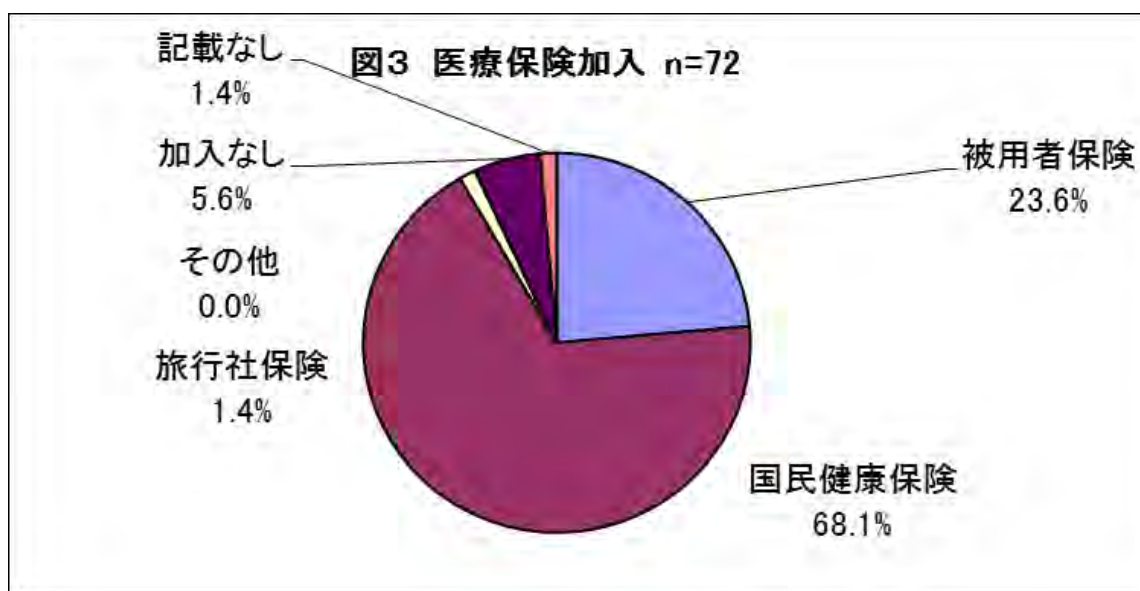


5. 医療保険加入状況（図3）

被用者保険 17 人(23.6%)、国民健康保険 49 人（68.1%）。被用者保険あるいは国民健康保険を持つ者は全体の 91.7%を占める。

昨年（2014 年）は、被用者保険(37.0%)、国民健康保険（42.4%）。被用者保険あるいは国民健康保険を持つ者は全体の 79.4%。

2007 年度までは、被用者保険と国民健康保険の加入者の割合は、増加傾向であったが、2008 年以降、徐々に減少していた。2012 年から、また、増加し、2013 年と 2014 年の被用者保険と国民健康保険の加入者の割合は同じくらい。2015 年、91.7%と大幅に増えた。



☆メモ さまざまな医療保険 （2013 年から医療保険の種類のことばを改めた。）

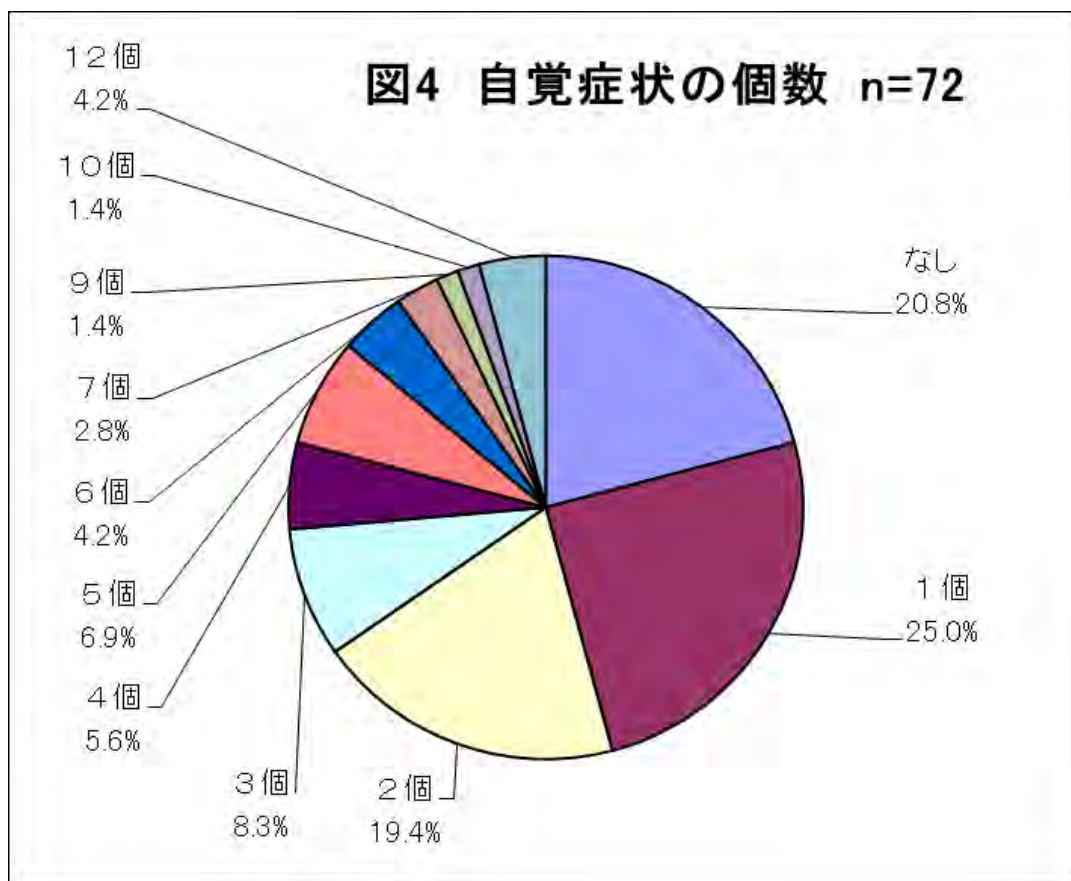
種類	対象者
被用者保険（職域保険）	民間企業の従業員
	船員
	公務員、学校の教員など
国民健康保険	上記の対象とならない人（自営業者、学生、無職者）

日本の医療保険適用者総数の 58.1%が被用者保険、30.2%が国民健康保険、11.6%が後期高齢者医療制度である（厚生労働省保健局調べ 2011）。

6. 自覚症状（図4、図5、表2）

1) 自覚症状の数

自覚症状は、受診者 72 人のうち 57 人（79.2%）が訴えていた。ひとりの訴える症状数は、1 つから 12 個までであった。1 つの症状を訴える者が 18 人（25.0%）と最も多く、次いで 2 つの症状を訴える者が 14 人（19.4%）、3 つの症状を訴える者が 6 人（8.3%）であった。訴える症状の数は、一人あたり 2.7（±2.97）個。昨年（2014 年）、自覚症状は、受診者の 77.2%が訴えていた。ひとりの訴える症状数は、1 つから 12 個。2 つの症状を訴える者（16.3%）が最も多く、次いで 1 つの症状を訴える者（14.1%）、3 つの症状を訴える者（12.0%）であった。2013 年から、1 つ以上の自覚症状を訴える者の割合は、微増している。



2) 自覚症状の種類

自覚症状の問診は 22 項目である。最も多い自覚症状・訴えは、「頭が痛い」17 人である。次いで、「体重変化があった」15 人、「腰が痛い」14 人、「めまい」13 人、「眠れない」13 人である。「その他」15 人の内訳は、鼻がつまる・鼻汁が出る4人、乳房の痛み・しこり・腋窩の痛み3人、肩こり2人などであった。

昨年（2014 年）は、最も多い自覚症状・訴えは、「腰が痛い」。次いで「背中が痛い」、「頭が痛い」、「体重変化があった」であった。

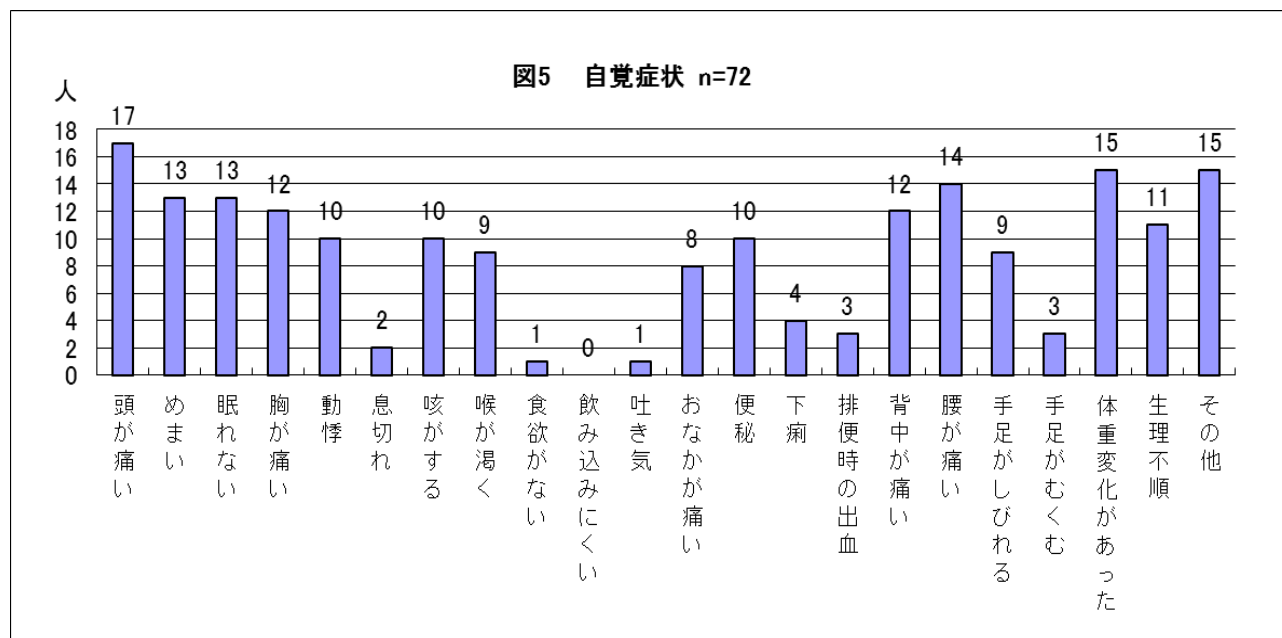


表2 自覚症状 n=72

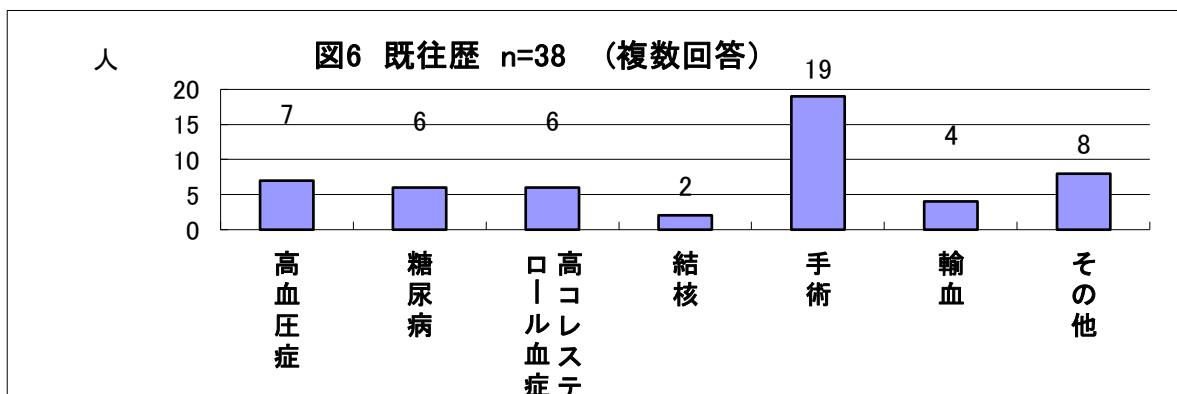
	人	全人数に 対する%
頭が痛い	17	23.6
めまい	13	18.1
眠れない	13	18.1
胸が痛い	12	16.7
動悸	10	13.9
息切れ	2	2.8
咳がする	10	13.9
喉が渇く	9	12.5
食欲がない	1	1.4
飲み込みにくい	0	0.0
吐き気	1	1.4
おなかが痛い	8	11.1
便秘	10	13.9
下痢	4	5.6
排便時の出血	3	4.2
背中が痛い	12	16.7
腰が痛い	14	19.4
手足がしびれる	9	12.5
手足がむくむ	3	4.2
体重変化があった	15	20.8
生理不順	11	15.3
その他	15	20.8

7. 既往歴 (図6)

既往歴がある者は、受診者 72 人のうち 38 人 (52.8%) であった。「手術をした」19 人が最も多い。その内訳は、帝王切開 5 人、骨折 2 人、扁桃腺 2 人、婦人科疾患 4 人などであった。

既往歴「その他」8 人の内訳は、喘息 2 人、花粉症 1 人、鼻炎 1 人、肺炎 1 人、偏頭痛 1 人、胃酸過多 1 人、月経不順 1 人である。

既往歴がある者の割合は、2010 年 48.9%、2011 年 72.8%、2012 年 41.9%、2013 年 44.4%、2014 年 44.6% であった。



8. 喫煙と飲酒

20 歳以上の受診者は 66 人。20 歳未満の喫煙者、飲酒者はいない。

1) 喫煙(n=66)

「たばこを吸う」7 人 (10.6%)、「吸わない」56 人 (84.8%)、「やめた」1 人 (1.5%)、「記載なし」2 人 (3.1%) であった。「たばこを吸う」7 人の内訳は、「1 日 20 本以内」5 人、「1 日 20 本以上」1 人、「不明」1 人であった。

「たばこを吸う」割合は、2010 年から年々、減っていた。2013 年 (16.3%) 増え、2014 年 (8.1%) 減り、今年 2015 年は増えた。

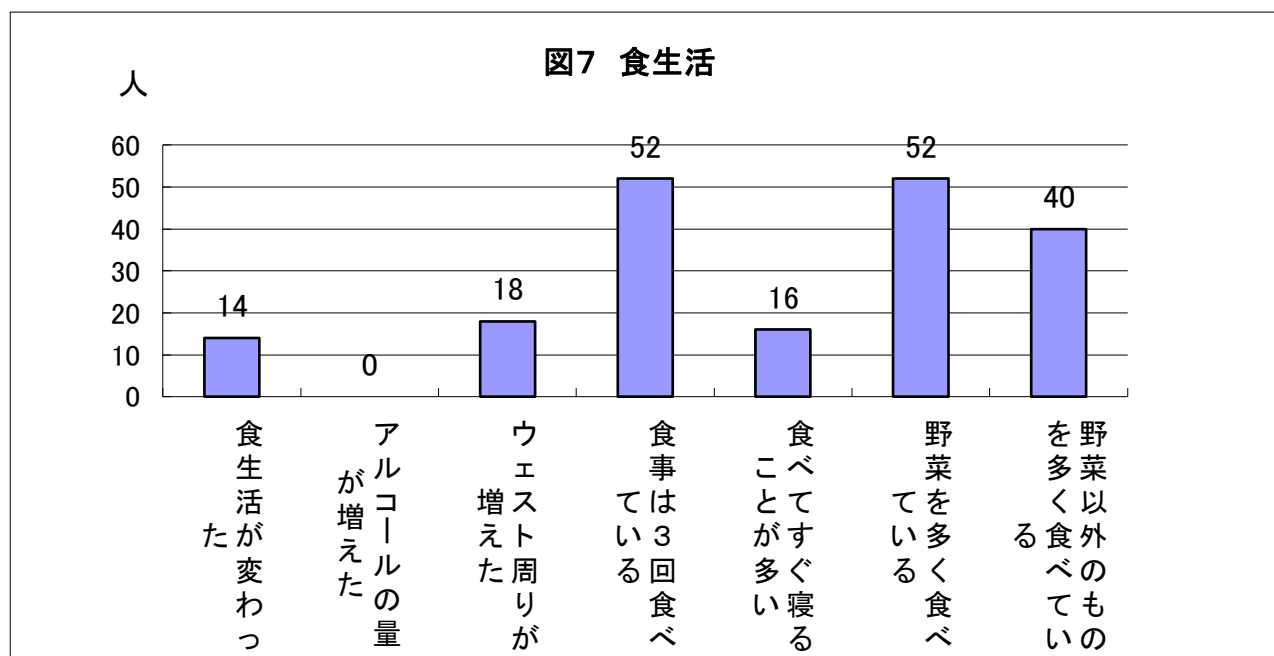
2) 飲酒(n=66)

「アルコールを飲む」17 人 (25.8%)、「飲まない」47 人 (71.2%)、「記載なし」2 人 (3.0%) であった。

飲酒をする人の割合は 2010 年 25.0%、2011 年 11.4%、2012 年 25.4%、2013 年 32.7%、2014 年 25.6% である。

9. 食生活(図 7)

「ウェスト周りが増えた」と答える者は 18 人であった。「食事は 3 回食べている」「野菜を多く食べる」は 52 人。「野菜以外のものを多く食べる」は 40 人である。「野菜以外のものを多く食べる」者の内容は、「牛肉」22 人、「豚肉」22 人、「バター」13 人である。



10. 検診結果

1) 肥満度 (BMI) (表 3)

20 歳以上の受診者の BMI をみた。20 歳以上で身体計測を受けた者は 64 人であった。男性は、「標準」が 12 人 (66.7%)、「肥満」が 6 人 (33.3%) である。女性では、「標準」27 人 (58.7%)、「肥満」19 人 (41.3%) である。

なお、肥満の判定基準については国によって違う。日本肥満学会の判定 BMI25 以上を肥満とした。

2014 年は、20 歳以上で身体計測を受けた者は 62 人。男性は、「標準」が 61.9%、「肥満」が 38.1%。女性では、「やせ」9.8%、「標準」56.1%、「肥満」34.1% である。

表3 BMI

		やせ BMI<18.5	標準 18.5≤BMI<25	肥満 25≤BMI<30 30≤BMI		計
男	人	0	12	6	0	18
	%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100%
女	人	0	27	14	5	46
	%	0.0%	58.7%	30.4%	10.9%	100%
計	人	0	39	20	5	64
	%	0.0%	60.9%	31.3%	7.8%	100%

2) 血圧

血圧の基準値は、最高 90~129、最低~84 である（静岡済生会総合病院）。

血圧測定は 66 人が受けた。結果は、「基準値範囲内」51 人(77.3%)、「(基準値外だが)支障なし」7 人(10.6%)、「経過観察」7 人（10.6%)、「要受診（医療機関の受診が必要）」1 人（1.5%）であった。

2014 年、血圧測定は 82 人。結果は、「基準値範囲内」58 人(70.7%)、「(基準値外だが)支障なし」7 人(8.5%)、「経過観察」8 人（9.8%)、「要受診（医療機関の受診が必要）」9 人（11.0%)。

3) 尿検査

尿検査の基準値は、尿蛋白（－）、尿糖（－）、尿ウロビリノーゲン（－）である。

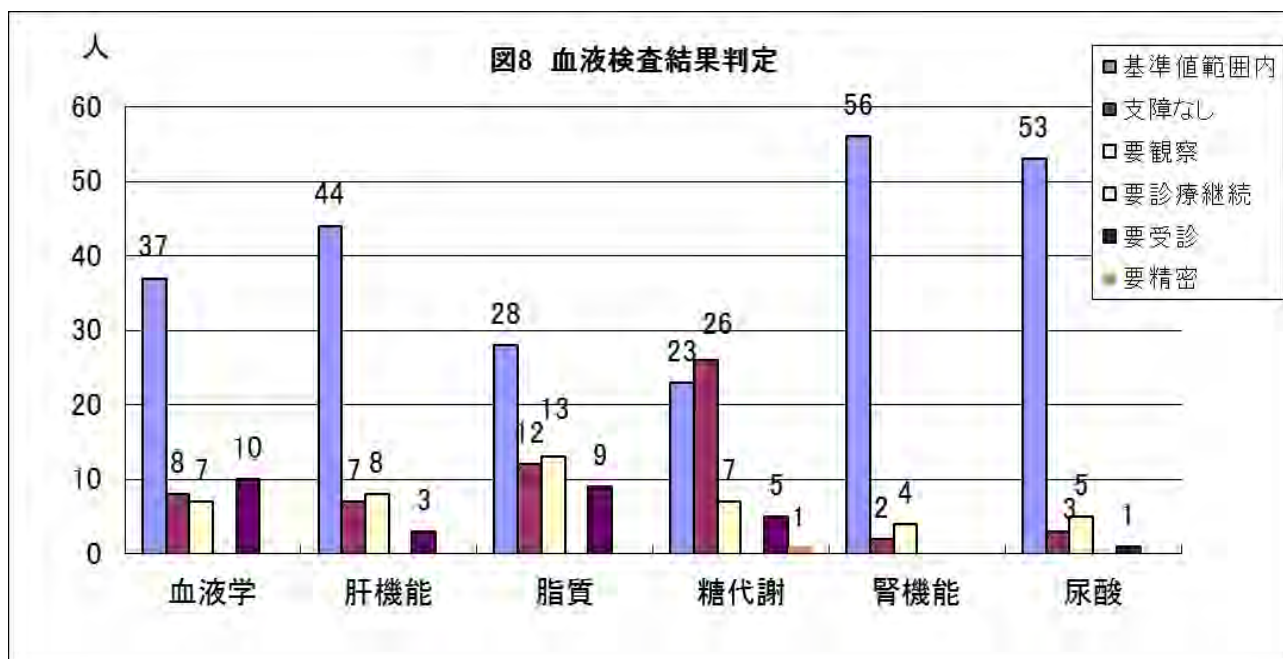
尿検査は 69 人が検査を受けた。「基準値範囲内」28 人(40.6%)、「支障なし」30 人(43.5%)、「経過観察」7 人（10.1%)、「要受診」4 人（5.8%）であった

2014 年、尿検査は 82 人。「基準値範囲内」58 人(70.7%)、「支障なし」6 人(7.3%)、「経過観察」11 人（13.4%)、「要受診」7 人（8.5%)。

4) 血液検査（図8）

表4 血液の基準値

血液学	赤血球数	3.60~4.89 百万/ μl	脂質	HDL コレステロール	40~119mg/dl
	ヘモグロビン	12.1~14.6g/dl		LDL コレステロール	60.0~119.9 mg/dl
	ヘマトクリット	35.5~43.9%		中性脂肪	30~149mg/dl
	MCV	79.0~100.0fl		空腹時血糖	78~99mg/dl
	MCH	26.3~34.3Pg	糖代謝	HbA1c	4.6~5.5%
	MCHC	30.7~36.6%			
	白血球数	3.20~8.59 千/μl	腎機能	クレアチニン	0.70 以下 mg/dl
	血小板数	130~349 千/μl			
肝機能	GOT (AST)	30 以下 U/L		尿酸	2.1~7.0 mg/dl
	GPT (ALT)	30 以下 U/L			
	γ-GTP	50 以下 U/L			
	総蛋白	6.5~8.0g/ dl			
	アルブミン	4.0 以上 g/ dl			
	A/G 比	1.3~2.0			



血液検査受診者は 62 人が受けた。「要観察」は、血液学 7 人 (11.3%)、肝機能 8 人 (12.9%)、脂質 13 人 (21.4%)、糖代謝 7 人 (11.3%)、腎機能 4 人 (6.5%)、尿酸 5 人 (8.1%)。「要受診」は、血液学 10 人 (16.1%)、肝機能 3 人 (4.8%)、脂質 9 人 (14.5%)、糖代謝 5 人 (8.1%)、尿酸 1 人 (1.6%)。「要精密検査」は、糖代謝 1 人 (1.6%)。

2014 年、血液検査受診者は 81 人。「要観察」は、血液学 4 人 (4.3%)、肝機能 10 人 (10.9%)、脂質 24 人 (26.1%)、糖代謝 5 人 (5.4%)、腎機能 2 人 (2.2%)、尿酸 6 人 (6.5%)。「要受診」は、血液学 16 人 (17.4%)、肝機能 5 人 (5.4%)、脂質 6 人 (6.5%)、糖代謝 1 人 (1.1%)、腎機能 1 人 (1.1%)、尿酸 1 人 (1.1%)。

5) 視力

視力の基準値は、右 裸眼/矯正 1.0 以上、左 裸眼/矯正 1.0 以上である。

視力測定は 65 人が受けた。「基準範囲内」17 人 (26.2%)、「経過観察」19 人 (29.2%)、「要受診」29 人 (44.6%)であった。

2014 年、視力測定は 56 人。「基準範囲内」16 人 (28.6%)、「経過観察」10 人 (17.9%)、「要受診」30 人 (53.6%)であった。

6) 胸部レントゲン

胸部レントゲンは 60 人が受けた。「基準範囲内」56 人 (93.3%)、「要精密検査」4 人 (6.7%)であった。

2014 年、胸部レントゲンは 69 人。「基準範囲内」60 人 (87.0%)、「支障なし」1 人 (1.4%)、「経過観察」3 人 (4.3%)、「要精密検査」5 人 (7.2%)であった。

7) 内科

受診者は 49 人。胸痛、呼吸困難感、肩こり、腹部のはり、甲状腺腫大、貧血、带状疱疹、皮膚炎、糖尿病。必要な者には、医療機関への受診、検査を勧めている。散歩、ストレッチ、体操など、運動を勧める。疲労に対して休養を勧める。乳癌、子宮癌検診のお知らせが来ているのではと声をかける。→今後、検診会で、市の乳癌・子宮癌検診のチラシを配布してはどうか。

8) 整形外科

受診者は 37 人。肩こり、肩痛、腰痛、下肢痛、ひざ痛など。重い荷物を持つ、中腰・前かがみの仕事、長時間の労働、寒い環境など、仕事に関連した痛みを訴える受診者がいた。必要な者には、医療機関の受診を勧めている。腰痛教室への紹介。

9) 小児

受診者（15 歳未満）は 1 人。

10) 耳鼻咽喉科

受診者は 55 人。耳垢栓塞、慢性外耳炎、滲出性中耳炎、聴力低下、老人性難聴、アレルギー鼻炎、慢性鼻炎、扁桃腺肥大、甲状腺腫瘍。

11) 歯科

受診者は 35 人。虫歯、歯周疾患、歯石、色素沈着、咬合、痛み、欠損などであった。虫歯の治療など、受診を勧めている。ブラッシング指導を行う。

12) 婦人科

子宮頸癌検診を受けた者は 38 人。「基準値範囲内」23 人（60.5%）、「支障なし」6 人（15.8%）、「経過観察」6 人（15.8%）、「要精密検査」3 人（7.9%）であった。

昨年（2014 年）子宮頸癌検診を受けた者は 32 人。「基準値範囲内」23 人（71.9%）、「支障なし」3 人（9.4%）、「経過観察」3 人（9.4%）、「要精密検査」3 人（9.4%）。

13) カウンセリング

受診者は 5 人。必要時、病院受診を勧める。学校、職場へ相談するよう伝える。発達の問題か、ことばの壁なのか、微妙な方がいた。

14) ソーシャルワーク

相談者は 11 人。内容は以下。乳癌・子宮がん検診の安く受ける方法があるのか。労働時間が長く、寝る時間がない、身体の調子がよくない。仕事に就けない。国民健康保険・年金の支払いで困っている。健康、あるいは生活の困りごとに対して、丁寧に聴き、受診者と解決方法を導いている。検診後の受診者にあった地域の病院紹介をしている。

15) 保険相談

相談者は 3 人。相談内容は次。国民健康保険の軽減制度・減免制度、支払。子宮がん検診・乳がん検診。国民健康保険は、保険年金課を案内。子宮がん検診・乳がん検診は、実施機関、（静岡市）健康づくり推進課を案内する。

16) 栄養指導

栄養指導を受けた者は 12 人。1 日の時間の配分、学校や仕事、食事内容等を聞きながら、食事内容やカロリー、運動、薬物治療継続等のアドバイスをを行っている。夜勤が多く、食事時間や食事内容に苦労している方多い。

17) 腰痛教室

腰痛教室を受けた者は 16 人。うち男性 1 人。女性 15 人。国籍は、ミャンマー 4 人、フ

フィリピン 4 人、中国 3 人、ブラジル 1 人、パラグアイ 1 人、ジャマイカ 1 人、バングラデッシュ 1 人、スリランカ 1 人。年齢は、20 歳代 4 人、30 歳代 5 人、40 歳代 2 人、50 歳代 3 人、60 歳代 1 人。理学療法士による指導は、マンツーマンを基本とした。肩のこわばりで 2 人対応した。

18) 検診後のフォロー

全員に、個人の健康診断結果報告書を、郵送した。日本語で書かれた健診結果報告書が読めるよう、ポルトガル語、スペイン語、英語に訳したものを作成し、同封した。宛先不在 1 人。再度送付し戻りはない。

「要精密」の受診者には、受診できたか、電話連絡をしている。

※ 会場提供の他、胸部 X 線撮影、血液検査については、静岡済生会総合病院の全面的な協力の下に実施しております。

※ 体脂肪の測定を行っていますが、協和医科器械株式会社より測定機器の貸与を受けて実施しております。

検診会受診者アンケート集計結果

前野真由美、海野有美子、池田聡子

アンケート配布 72 人。回答者 69 人。
アンケート用紙内訳：英語 32 人、日本語 18 人、ポルトガル語 14 人、スペイン 5 人。

1. 性別

	人	%
男性	20	29.0
女性	49	71.0
合計	69	100.0

2. 年齢

	人	%
10 歳代	2	2.9
20 歳代	17	24.6
30 歳代	26	37.7
40 歳代	10	14.5
50 歳代	8	11.6
60 歳代	5	7.2
70 歳代	1	1.4
合計	69	100.0

* range 14-70 歳

3. 国籍

	人	%
ブラジル	15	21.7
フィリピン	14	20.3
中国	11	15.9
ミャンマー	7	10.1
バングラデシュ	7	10.1
ベトナム	3	4.3
パラグアイ	2	2.9
台湾	1	1.4
タイ	1	1.4
スリランカ	1	1.4
ネパール	1	1.4
アメリカ	1	1.4
ジャマイカ	1	1.4
グアテマラ	1	1.4
ペルー	1	1.4
オーストラリア	1	1.4
イタリア	1	1.4
合計	69	100.0

4. 居住地

	人	%
静岡県静岡市	47	68.1
静岡県焼津市	10	14.5
静岡県菊川市	5	7.2
静岡県藤枝市	2	2.9
静岡県浜松市	2	2.9
静岡県掛川市	1	1.4
静岡県沼津市	1	1.4
静岡県外	1	1.4
合計	69	100.0

5. 日本滞在年数

	人	%
0 年以上 1 年未満	2	2.9
1 年以上 2 年未満	2	2.9
2 年以上 3 年未満	1	1.4
3 年以上 4 年未満	6	8.7
4 年以上 5 年未満	6	8.7
5 年以上 10 年未満	15	21.7
10 年以上 15 年未満	11	15.9
15 年以上	17	24.6
記載なし	9	13.0
合計	69	100.0

* range 0.3-32.0 年

6. 今後、日本に滞在する予定年数

	人	%
0 年以上 1 年未満	1	1.4
1 年以上 2 年未満	1	1.4
2 年以上 3 年未満	2	2.9
3 年以上 4 年未満	2	2.9
4 年以上 5 年未満	4	5.8
5 年以上 10 年未満	5	7.2
10 年以上 15 年未満	1	1.4
15 年以上	1	1.4
長期	4	5.8
何年か	1	1.4
学校卒業まで	1	1.4
わからない	9	13.0
訳せず	1	1.4
記載なし	36	52.2
合計	69	100.0

7. 受診回数

	人	%
1 回目	32	46.4
2 回目	9	13.0
3 回目	10	14.5
4 回目	9	13.0
5 回目	1	1.4
6 回目	3	4.3
記載なし	5	7.2
合計	69	100.0

8.

A. この検診会についてどこで知りましたか。
(複数回答)

	人
派遣会社	6
友人	39
マスコミ	5
その他	20
学校	(15)
市役所	(1)
教会	(1)
Face Book	(1)
記載なし	(2)

B-I. 日本に来て病院に行ったことがありますか。

	人	%
あり	58	84.1
なし	11	15.9
合計	69	100.0

B-II. B-I の質問で、「ある」と答えた方で、
a. 行った病院の種類は

	人	%
総合病院のみ	24	41.4
診療所のみ	14	24.1
総合病院と診療所の両方	15	25.9
記載なし	5	8.6

合計	58	100.0
----	----	-------

b. 何科を受診しましたか。（複数回答）

	人
内科	29
外科	12
歯科	25
耳鼻科	18
皮膚科	11
婦人科	22
小児科	10
その他	7
眼科	(2)
整形外科	(1)
その他	(3)
記載なし	(1)

B-Ⅲ. 病院にかかるときの心配事は何ですか（複数回答）

	人
言葉がわからない	28
医療費が高い	22
仕事を休まなければならない	12
医療前の説明が不十分	6
待ち時間が長い	16
患者の質問に対する医師の説明があまりない	5
看護師が不親切	1
自宅の近所に病院、医院、診療所がない	1
人種差別的態度を感じる	4
その他	1

C-I. 持っている健康保険の種別は何ですか

	人	%
被用者保険	16	23.2
国民健康保険	46	66.7
海外旅行者保険	1	1.4
その他の保険	1	1.4

持っていない	4	5.8
記載なし	1	1.4
合計	69	100.0

C-II. C-I 質問で「海外旅行者保険」「その他の保険」「持っていない」に答えた方、社会保険または国民健康保険がほしいですか。

	人
ほしい	1
いらない	2
記載なし	3
合計	6

C-Ⅲ. C-II の質問で「ほしい」と答えた方で、それがもらえない理由は何ですか。

	人
短期滞在のため	1
合計	1

C-Ⅳ. C-II の質問で「いらない」と答えた方で、いらない理由は何ですか。

	人
自分で保険に入っている	1
記載なし	1
合計	2

E. 特定健康診査、特定保健指導の内容を知っていますか。

	人	%
はい	35	50.7
いいえ	25	36.2
記載なし	9	13.0
合計	69	100.0

次回に向けて

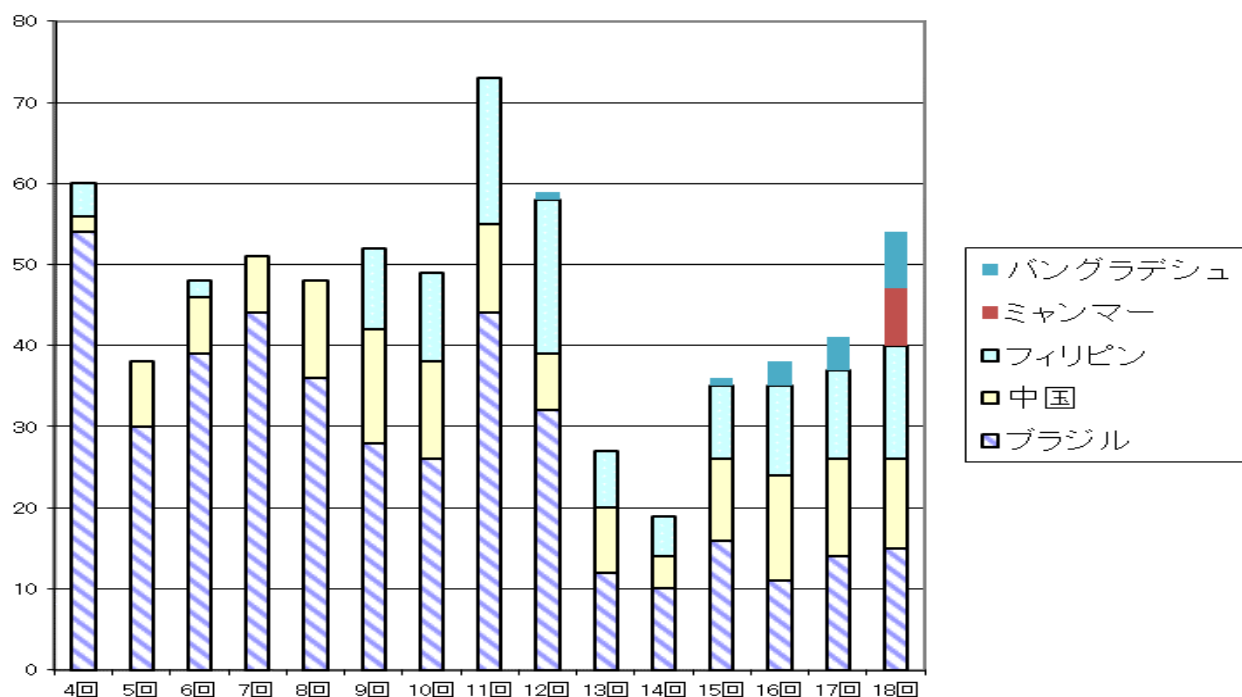
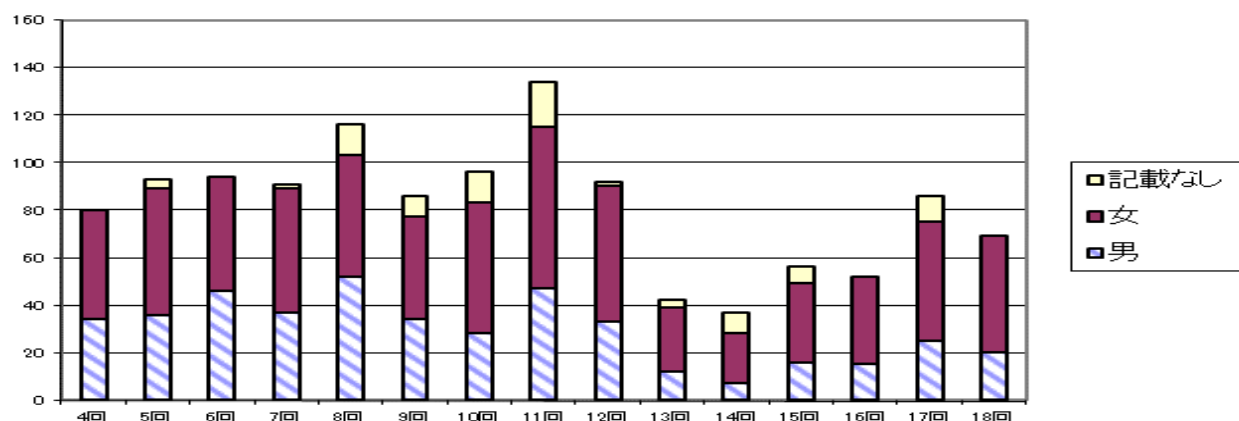
質問項目が用紙の両面にある。今年度と同じように、最終受付で、受診者へ、記入漏れないよう声かけする。

「外国人のための無料健康相談と検診会」アンケート集計比較（過去 15 回分）

作成 2016 年 2 月 12 日

山 田 隆 之

		4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
	受診者総数	96	97	109	106	125	97	96	134	96	47	37	74	54	92	72
	アンケート数	80	93	98	91	116	86	96		92	42	37	56	52	86	69
性別	男	34	36	46	37	52	34	28	47	33	12	7	16	15	25	20
	女	46	53	48	52	51	43	55	68	57	27	21	33	37	50	49
	記載なし		4		2	13	9	13	19	2	3	9	7		11	
	計	80	93	94	91	116	86	96	134	92	42	37	56	52	86	69
年齢	10歳未満	3	2	3	2	3	2	3	2	3				2	2	
	10歳代	9	6	9	5	6	3	3	6	4	2	2	2	1	1	2
	20歳代	18	19	17	16	20	18	17	31	10	4	6	7	8	21	17
	30歳代	29	30	27	30	27	22	34	34	37	13	7	16	18	27	26
	40歳代	15	21	22	19	24	19	15	25	16	8	7	12	15	9	10
	50歳代	6	4	13	12	11	9	6	14	16	9	4	10	5	7	8
	60歳以上		5	5	7	12	5	4	5	1	3	4	3	3	6	6
	記載なし		1	2	0	13	8	14	16	4	3	7	6		13	



国籍	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
ブラジル	54	30	39	44	36	28	26	44	32	12	10	16	11	14	15
ペルー	11	32	23	21	32	15	19	18	18	3	5	6	4	3	1
中国	2	8	7	7	12	14	12	11	7	8	4	10	13	12	11
フィリピン	4		2			10	11	18	19	7	5	9	11	11	14
アルゼンチン	1	7	4	2	6	2		1							
イラン	3	2	3	3				3	1				1		
アメリカ	1	2	4	4	1		3	2		2	1	2	3	2	1
スリランカ	1	3	4	4	2								1	4	1
インドネシア			1					3	2	1				10	
コロンビア				1			5	3	1			1			
カナダ	1	1	1	1		2		1	1	1	1	1		1	
ベトナム														10	3
タイ			2					2	5		2	1		3	1
ミャンマー															7
日本								2						1	
イタリア	1	1	1	1				1							1
韓国										1					
スペイン							2	1	1		1				
メキシコ	1			1	1			2							
台湾			1					1	1						1
ボリビア		1	1										4	1	
モロッコ			1												
イギリス			1	1											
インド															
ウルグアイ								2							
クルド															
ドイツ										2					
ネパール														4	1
バングラディッシュ									1			1	3	4	7
ベネズエラ								2				2			
ポーランド		1													
ロシア															
オーストラリア															1
シンガポール		1													
チェコ															
パラグアイ										1		1	1	1	2
フランス								1							
ポルトガル								1							
香港															
その他					16	6	8							1	2
記載なし		4	3	1	11	9	10	15	3	4	8	6			4
計	80	93	98	91	116	86	96	134	92	42	37	56	52	86	69
居住地	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
静岡市		25	38	39	50	44	50	54	42	21	19	30	24	49	47
清水市		6													
静岡市以外県内		49	49	44	51	33	38	59	34	12	10	17	19		
内訳															
焼津市		8	7	2	11	6	1	9	11	10	6	7	9	8	10
島田市		7	6	8	1	2	2	5	3					1	
函南町									2						
富士市				2			9	2	2						
富士宮市													3	1	
裾野市													1		
藤枝市		3	12	2	3	2	2	3	2			2	2	3	2
御殿場市		3	4	2		4		8	1						
吉田町			4	4			1		1						
浜松市							1	1	1		1				2
菊川市			1		5	2	4				1	1	1	3	5
掛川市				2	2	2	1	6							1
御前崎市					1	1		1							
沼津市		1		2			1								1
湖西市												1			
岡部町							1								
志太郡					1	1									
榛原郡		9													
牧之原市					1										
大東町			3	1											
大井川町			1	1											
浜岡町			3												
小笠郡		1													
小笠町			1												
記載なし		17	7	18	26	13	15	24	11	2	2	5	3	7	
県外		2	5	2	1	2	8	0	1	1		1	1	1	1
記載なし		3	6	3	14	7		21	15	8	8	8	8	13	

日本滞在年数	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
0年以上1年未満	9	7	11	2	5	4	10	1	2	1		5	4	6	2
1年以上3年未満	19	19	16	12	15	17	8	22	6	1	2	0	1	13	2
3年以上4年未満	6	3	5	5	6	3	10	5	5	3	0	2	2	2	1
4年以上5年未満	11	6	2	16	4	5	4	8	2	1	1	1	1	3	6
5年以上10年未満	21	31	25	19	33	22	23	35	24	11	7	8	11	16	6
10年以上15年未満	12	17	29	31	35	29	30	22	25	8	9	11	10	12	15
15年以上								23	21	14	10	21	14	18	11
記述読めず									1						17
記載なし			10	10	6	18	6	11	18	6	4	8	8	9	9
計	78	93	98	91	116	86	96	134	92	43	37	56	52	86	69
日本に滞在する予定年数	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
1年未満										1	2	1	1	3	1
1年以上2年未満								5	1	0	1	6	0	1	1
2年以上3年未満								5	5	5	0	4	3	5	2
3年以上4年未満								10	6	0	3	0	3	4	2
4年以上5年未満							12	2	2	1	0	0	1	2	4
5年以上10年未満							4	15	7	3	3	4	0	9	5
10年以上15年未満							5	10	9	7	1	5	1	5	
長期							11	5	8	1		7	6	5	5
永住							4	9	8	7		1	3	4	
配偶者が日本人									2						
わからない							15	18	11	3		10	5	13	9
訳せず								1	2						1
記載内容が不明								2							
その他							4						2		3
記載なし							41	52	30	14	27	18	27	35	36
計	0	0	0	0	0	0	96	134	91	42	37	56	52	86	69
受診回数	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
初めて		58	45	49	39	39	31	59	31	12	10	24	21	38	32
2回目以上		17	31	8	17	17	27	14	27	4	2	8	7	8	9
3回目以上		18	19	40	38	20	7	15	7	8	2	5	6	15	10
4回目以上							14	10	14	11	2	4	2	5	9
5回目以上							6	14	6	4	11	6	3	1	1
6回目以上								1			1	3	4	3	3
記載なし		0	3	3	22	10	7	21	7	3	9	6	9	16	5
計	0	93	98	100	116	86	92	134	92	42	37	56	52	86	69
検診会どこで知った？	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
派遣会社	5	4	2	4	7	6	6	49	22	9	2	5	3	5	6
友人	29	49	59	51	57	46	44	49	36	13	18	28	28	58	39
マスコミ	12	20	8	14	9	11	15	10	17	6	5	11	4	10	5
学校										5			2		15
歯科医院										2					
市町村	1	5	1							1				2	1
ボランティアチーム										1					
家族	3	1	4					4	1		4		2	2	
教会	7		2						1	3	2				1
通知	13	6	7					2	4		2		3	1	
SAMESHIUOKA		1	1						3						
インターネット								2	1				2		1
県								6							
市								2					2		
その他	13	4	4	18	41	23	29				4	12	18	13	
記載なし		4	11	4	2	2	3	1					3	4	2

日本で病院に行ったことがあるか？	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
ある	54	77	83	73	91	60	90	108	73	32	36	49	42	71	58
ない	27	16	15	18	25	8	5	25	18	10	1	6	10	15	11
記載なし							1	1	1		0	1			
計	81	93	98	91	116	68	96	134	92	42	37	56	52	86	69
病院に行った人で病院の種？	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
総合病院	42	46	37	40	39	27	40	39	28	15	21	23	9	32	24
診療所	20	11	22	16	24	8	19	29	18	4	19	11	10	23	14
両方		16	21	13	26	19	23	28	21	12	6	12	18	10	15
記載なし		4	18	22	2	6	8	12	6	11	3	3	5	6	5

何科を受診？	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
内科	36	46	57	46	45	28	47	60	43	17	21	29	17	28	29
外科	7	8	13	6	14	13	10	19	7	8	2	9	7	10	12
歯科	18	28	28	18	20	22	36	48	25	16	14	17	21	28	25
耳鼻科	6	12	14	9	18	15	23	25	17	13	7	19	21	22	18
皮膚科	7	10	12	13	9	13	14	28	13	9	4	9	14	16	11
婦人科	3	9	7		24		29	40	25	15	6	16	16	19	22
小児科					13		8	15	9	4	4	9	3	4	10
整形外科			4	3				3	1						1
泌尿器科									1				1		
眼科	1		2												2
その他	1	4	3	22	14	24	11	5	4	5	4	5	2	12	3
かかりつけの病院は？	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
ある	21	29	36	26											
ない	54	59	46	57											
記載なし		5	16	8											
日本で行かない理由	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
病気にならないから	1	1		1											
引越しなどを考えているから				1											
現在どこも悪いと感じない				1											
必要ない	1		3	1											
時間がない			1												
長患いをしたことがないから			1												
保険がないし高いから		2	1												
来て間がない			1												
言語の問題	1	1													
病院での心配事は？	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
言葉がわからない	51	50	42	52	64	29	50	72	49	18	12	24	22	40	28
医療費が高い	34	31	41	27	36	20	32	49	28	8	11	19	15	30	22
仕事を休まなければなら	30	31	25	20	29	17	28	28	22	6	7	11	17	19	15
医療前の説明が不十分	12	8	12	11	15	10	15	28	11	7	5	7	5	7	6
待ち時間が長い					14	13	14	16	23	10	6	14	8	18	16
患者の質問に対する医	22	16	18	20	18	10	12		5	3	4	8	4	8	5
看護師が不親切					1	0	1		2	0	1	0	1	1	1
自宅の近所に病院、医	2	2	3	5	2	4	6	4	2	6	1	3	3	5	1
人種差別を感じる	7	5	3	3	7	6	5	6	4	0	2	0	1	0	4
その他	4	4	5	4	5	3	4	2	4	2	1	2	1	1	1
持っている健康保険は	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
被用者保険	11	18	18	14	17	20	36	29	30	8	10	15	14	27	16
国民健康保険	17	25	36	29	45	32	38	53	33	20	14	25	30	44	46
海外旅行者保険	13	9	4	12	9	3	1	13	5	5	3	3	2	2	1
その他の保険	7	9	5	6	11	7	4	21	9	2	1	2	2	1	1
持っていない	30	29	26	27	29	19	12	9	13	6	6	6	3	8	4
不明				3			1	1							
その他						2									
記載なし	2	3	9		5	3	4	8	2	1	3	5	1	4	1
	80	93	98	91	116	86	96	134	92	42	37	56	52	86	69
社保国保がほしい？	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
ほしい	21	25	30	20	14	11	5	7	6	6	3	5	4	3	1
いらない	23	20	11	25	26	16	11	24	13	7	5	6	2	6	2
記載なし	6	2			9	2	1	12	8		2		1	2	3
欲しくもらえない理由	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
会社が社会保険に入	2	3	4	4	1	4	1		3	0					
保険に加入する手続き	6	10	9	6	1	2	1	5	0	1		3		1	
住んでいる町や市が入れてく	11				3	2	1	1	2	0				1	
その他(保険料が高い、失業し	2	17	6	7		2	1	1	4			2	2	1	1
その他(記載なし)											1		2		
記載なし										1	2				
保険が要らない理由？	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
経済的問題		6													
ビザ問題		2													
一般的に健康		1													
何年かかるかわからない				1											
結婚して相手の保険に入る				1	1										
母国に帰るため			1		1		1	5	1		1	1			
いつ母国に帰るかわからないから					1									2	
保険料が高い	1		1	2	1		4					1			
短期間滞在のため	1		1			1				1					
会社の保険を待っている状況		1							1						
母国の保険を持っている									2			1			1
たぶん必要ない				1		1			1						
費用が気になる			1			1									
社会保険に加入していない					1										
記載なし									9	5	2	3	2	4	1
訳せず											2				

外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

静岡県立総合病院
総合診療センター長
袴田康弘

数年ぶりにこのボランティア活動に参加し、静岡済生会病院に一日お邪魔しました。お昼ご飯もいただきました。有難うございました。

検診会への参加が久し振りだったこともあって、検診会の雰囲気はずいぶん様変わりしたと感じました。受診された方たちのお国が世界的に網羅されているようです。静岡厚生病院でかつてお手伝いした時には、ブラジルやペルーの方々が多く南米出身の方々がほとんどだったかなと思い出しておりました。日本での残業が多く、休日が少ない仕事で疲れているのだとおっしゃる方が多かったように記憶しています。その時にはポルトガル語やスペイン語が全く判らず言葉の壁に困りました。通訳の方に全部頼って問診や身体診察を行いました。糖尿病がきびしい方、腰痛がきついとおっしゃる方、通訳のボランティアさんに全部お願いして説明しました。フィリピンの方が2-3人されていましたが英語で話が通じたことで、妙にほっとしたことを覚えています。

今回は、中南米出身の方が少なくなって、さらに高齢者が少なくなってきたのではないのでしょうか。一方で、バングラデシュ、ベトナム、ミャンマーからの留学生たち、グアテマラ出身で英語もスペイン語も日本語も出来るとおっしゃる方など、バリエーションが増えたように感じました。日本留学中とおっしゃる方が目立ったこと、英語でのコミュニケーション可能な方、英語圏の地域の方が多くなったかなと気付きました。検診のさいに直接会話ができると、私自身はずっと安心して診察できました。外国の方たちの出身地域が変化したことの一面でした。むろん今年も、通訳の方たちのおかげで中南米の方々とのお話には困りませんでした。今回は診療をする上でわたし自身は気楽にできる方が多くなったと思いました。

また、今回の検診会参加者には、労働者ではなくて留学生が増えたという印象を持ちましたし、若年者が多かったようにも感じました。勉強が忙しくて、運動することが少なく、体がほぐれない、肩こりが厳しいという訴えも目立ちました。

状況が変わってきているのですが、中南米出身者で日本在住が長い方はやはりいらっしゃるし、医療機関にはほとんど受診せず今回の健康診断と相談に期待しているとおっしゃる方がおられました。受診者の背景はともかく、日本の医療にアクセスすることが乏しかったり、不可能な状況であったりする方が見受けられました。受診者の出身地域や、検診中に使われる言葉が変わってきてはいますが、検診に期待される方々が少なからずおられることについて改めて知らされました。

参加できて良かったです

城北すぎやま整形外科

杉 山 晴 敏

「外国人のための無料検診会」があることは以前から知っていましたが、あまり関心がありませんでした。

今回、代表の榎本信雄先生からご連絡をいただき、参加させていただきました。本当に良い経験をさせていただいて良かったです。

通訳の方が丁寧に仲立ちをしてくださり、また患者さんに付き添ってこられた息子さんや娘さんが流暢な日本語を話してくださり、会話には全く困りませんでした。

理学療法士の先生が隣で腰痛教室を開いていただいていたので、腰痛ばかりか肩こりの患者さんもお願ひして大変助かりました。

夜 11 時から朝 10 時まで 11 時間も夜中にお弁当屋さんで働いていて肩が凝るという女性、仕事中に事故で足根骨の粉碎骨折をして 5 年以上も痛みを抱えているという男性などが診察に来られました。

静岡市は比較的外国の方が少ない地域だと思っていましたが、最近徐々に増えて来ており、現在では「着実に私たちの生活を支えてくださっているのだなあ」と思いました。

最後に私事ですが、10 年前まで済生会総合病院と一緒に働いていたスタッフが元気に参加しているのを見ることが出来、また院長の石山純三先生にもお目にかかることが出来、大変うれしかったです。またここ数年、済生会総合病院がこの場を提供していることを知り、少し誇らしく思いました。

ボランティアの皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

検診会に参加して

地方独立行政法人 静岡県立病院機構

静岡県立こころの医療センター

村上 直人

私の指摘を待つまでもなく、この十年で受診する人の顔ぶれは随分変わった。南米の受診者が減り、アジアの人々が増えた。そして何人かの方から日本に対する失望感を述べられたのには参った。それは、はナショナリズム以前に、私たちの社会が外国人に対して不寛容なこと、自分たちだけの価値観に閉じこもっていて、それを良しとしていることにあと思う。

そうした日本人の一人として、さして多くはない日本に来られた外国人のために、このような形で良いのなら、今後も微力を尽くさせていただければと思っている。

検診会では、いつもこの検診会では先輩にあたる奥村先生と一年分のおしゃべりをしながら、楽しく診察させていただいている。何度も言うようだが、それが本当にお役にたっているのかは疑問ではあるけれども・・・



外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

静岡市駿河区役所保険年金課

保険係 梶山 倫裕

今回、静岡市は健康保険に関する相談窓口として参加させていただきました。私自身初めての参加でしたが、朝から多くのボランティアのみなさんが準備をされ、また、開始時刻直前には、受付にこの検診会を必要とされる多くの外国人の方が並び、この検診会に対する様々な思いを肌で感じることができました。また検診項目も多岐にわたっており、多くの医師・看護師のみなさんのこの検診会に対するご賛同があることが印象的でした。

わたしの相談窓口には、保険料の相談のほか、健康保険の資格の切り替えに関する質問などがありました。また、医療機関の方から高額療養費に関する相談や通訳ボランティアの方からは日本に住む外国人の生活や健康保険への加入実態についてのお話しなど、各現場に携わるみなさんの生の声を聴く機会にもなり、私自身にとっても非常に貴重な経験となりました。

この検診会の昨年の受診者の健康保険の加入割合をみると、国民健康保険への加入者は、51.2%と最も高く、次いで社会保険への加入者が31.4%と全体の約8割の方が何らかの健康保険に加入されているとのことでした。しかしながら、特定健康診査・特定保健指導の認知度は全体の46.5%とのことで、健康保険に加入していても半分以上の外国人が特定健診について認知されていない、または制度を知っていても言語の壁などの理由から利用していないという課題が見受けられました。特定健診は、生活習慣の改善や病気の早期発見はもとより、ひっ迫する医療費削減にその効果が期待されています。静岡市国民健康保険としましても、特定健康診査等を推奨しているところでありますが、受診者のニーズにあわせたこの検診会の実施は、大いに参考になるものと思いました。

静岡市の国民健康保険では、保険資格の切り替えや各種制度に関する相談や手続きを行っております。外国人向けには、各外国語による案内チラシや、外国語が話せる職員による対応も実施しております。今後も健康保険の制度を運営する保険者として、外国人の方をはじめ、より多くの方にとって利用されやすい国保制度の提供に努めてまいりますので、国保行政に対する一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、当検診会に参加させていただきましたことに感謝申し上げますとともに、この検診会の活動の更なる発展をお祈り申し上げます。

「外国人のための無料健康相談と検診会」に参加して

静岡済生会総合病院

医療ソーシャルワーカー

大塚 久実

今回初めて、外国人のための無料健康相談と検診会に参加させていただきました。

前日からの雨で少し心配していましたが、10 時前には受付にたくさんの方々が並んでいる姿を見て、安堵するとともに、どんな相談がくるか不安な気持ちにもなりました。

受付をされた方は、事前申し込みをしている場所へ順に行かれた為、しばらくは待機となりましたが、その間、さまざまな言語が飛び交う空間は、普段の業務とは違うのだということを実感しました。

女子学生さんが医師とともに来られ、「おそらく〇〇症だと思うが、詳しい検査が出来る病院を紹介してほしい、紹介状も書きました」との相談がありました。当院でもその検査ができ、専門医もいたためご案内、自宅から病院も遠くはない距離だとのことで、専門医が外来を行っている曜日をお伝えし、後日、受診していただくことになりました。

相談の中には、「正式に仕事をしたいが言葉の壁があり、日本語を学んでいる」「働いているが、労働時間が長くて肩が痛い」と来られた方など、内容も人それぞれ。仕事が終わった後、浜松から参加された方もいらっしゃいました。また、何名かの方は「ソーシャルワークとは何か？」と疑問に思い来られた方もおられました。

保険の事、検診クーポンのことなどは、保険年金課の方も参加していただいていたため、話を繋げさせてもらいました。

多くのスタッフ、関係者、医師、看護師、ボランティアさん等に支えられ、この検診会が開催され、そこに参加出来たことで、新たな発見がいくつかありました。特に、医療通訳の方々の力はとても大きなものです。外国語のわからない私自身、医療通訳さんが付き添っていたからこそ、面談が出来たのですから。通訳は、双方の言葉を正確に伝達し、円滑なコミュニケーションを可能にするためにも必要な存在であり、当院でも昨年 7 月から毎週金曜日の午前、スペイン語とポルトガル語の医療通訳の方がおります。

日本に来られ、健康面や言語、日々の生活など不安なことも多々あるかと思いますが、健康維持、病気の早期発見に繋げていくこと、また、ニーズがありながら相談できない方を掘り起こしていくことも大切ではないかと思います。そこに病院として、何かお手伝いが出来ればいいなと感じました。

この検診会が、今後も末永く続くことを期待しております。

外国人のための無料検診相談と検診会に参加して

静岡済生会総合病院

診療放射線技師 西野 真弓

外国人のための無料検診相談と検診会は18回目、当院では3回目の開催となりますが、初めて参加させていただきました。受診申込者の一覧を拝見したとき、こんなにも多くの様々な国の方々が受診されるのかと正直驚きました。18回目の開催と言うことで実行委員会の努力もあり、アナウンスされているのはもちろんのこと、外国人の人口が静岡県内では7年ぶりに増加し、浜松市2万人、次いで静岡市が8170人、静岡県全体で7万2690人になったという記事も新聞で拝見し、今回のような検診会に大勢の人が受診されるのもわかるような気がしました。日本にしながら、保険に入れなく、言葉が通じないなどで日本の医療を満足に受けることができない外国の方々がこんなにも多くいるということも考えさせられました。

さて、今回私は放射線技師として胸部レントゲン部門を担当させていただきました。レントゲン撮影時には異物が写り込まないように、ボタンや金具、装飾品やプリントのある服を着たままでは撮影することができません。また宗教的な理由で人に肌を見せられず服を脱ぐことができない方もいるかもしれません。言葉が通じない外国の方に、そのニュアンスが伝わるだろうか、どこまで理解して協力してもらえるだろうかと不安がありました。さらに、開催日は11月中旬ということもあり、服を着込んで来院している受診者が大半でした。実際にはボランティアの通訳がついて間に入ってくれましたので、大きなトラブルになりませんでした。やはり服の脱着に関してはかなり時間がかかり、待ち時間も長くなってしまいました。来年度は少しでも待ち時間を減らして、スムーズに検診を行えるよう工夫する必要があると思います。

しかし、今回参加したことでよかったと思えることが一つあります。言葉が通じなくても笑顔は共通ということです。レントゲン撮影時には撮影室では2人きりになります。不安や緊張が高まる中でもこちらが笑顔で対応すると、相手も笑顔になり肩の力が抜けて安心して胸部レントゲンを撮れているようでした。日常的な医療現場でも、言葉が通じない意思疎通が困難な患者さんが大勢います。このような経験を生かして、患者さんの不安や緊張を和らげ、安心して検査を受けてもらえるように日々努力していこうと思います。このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

外国人のための無料健康相談と検診会

静岡済生会総合病院

臨床検査科 田島 正明

今回初めてこの外国人検診会に参加させていただき、聴力検査を担当しました。参加前は、言葉が通じないのでうまくコミュニケーションがとれ、しっかり検査が出来るのかと心配でしたが、当日は日本語を少し話せる方が多かったのでボランティアの通訳の方がいなくてもなんとか聴力検査を行うことが出来ました。しかし、検査説明の際には理解が難しいようで「音が聞こえたらボタンを押して下さい。」は理解できても「音が聞こえたらボタンを押して、聞こえなくなったらボタンを離して下さい。」が理解してもらえないことがほとんどでした。その際にはオーディオ室のドアを開け、ジェスチャーで音が聞こえるかなどを一つ一つ確認していく必要があった為、大変でした。

検診の聴力検査は、ある音が聞こえているか聞こえていないかの判定のみとなります。通常、耳鼻科を受診され行う聴力検査は、低音から高音までいろいろな高さの音を出してどこまで小さな音が聞こえるかを判定していきます。患者様への説明も多くなるので、外国人の患者様にとってはなかなか理解が難しいだろうと感じました。

聞こえの悪さを自覚している方、していない方、両方の方がおられました。普段騒音の中でお仕事をされているのか、病院での治療は始まっているのか、検診を受けに来られた方の背景がすごく心配になりました。

このように外国人が無料で検診や相談を受ける機会があることはとても良いことだと感じ、そしてその検診・相談会をこれからも継続していくことが大切だと思いました。これからも外国人の方が心身共に健康を維持していくことが出来るよう、病院や私自身などが情報提供し、参加者が増加するよう働きかけていければいいなと思いました。今回参加させていただいた貴重な経験を今後の業務にも生かせるようにしていきたいと思いました。この度は、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

静岡県立大学 看護学部 4 年

原 華 代

昨年に続き今年も外国人のための無料健康相談と検診会に参加させていただきました。昨年は初めての経験で緊張しましたが、今回はリラックスして参加できました。実行委員会の皆様や済生会病院の職員の皆様に再会できる機会は楽しく、また何より外国人の健康に関わることができることは貴重な体験です。私は看護師の臨床経験の中ではほとんど外国人の患者様には関わることができなかったのですが、この検診会で外国人の住民を身近に感じることができました。

検診会に来院した方は、日本語が全く話せない方や、緊張した表情の方、また、生活習慣病を気にしてメタボ予防について質問される方もいました。日本に住む外国人は生活習慣の違いなどで、自国にいるときよりも住みにくさを感じたり、ストレスを抱え体調不良が起こることもあります。このような外国人住民の実際の表情や雰囲気、困っていること、など肌で感じ、ボランティアスタッフとして参加したことで学ぶことが多かったです。そして継続して参加することでボランティアスタッフ同士の繋がりもできます。この検診会開催が継続することにより、静岡県に住んでいる外国人住民の健康と豊かな生活に少しでも貢献できることになると思い、私自身も可能な限り継続していきたいです。

住民ばかりでなく日本に旅行で訪れる外国人は増加しています。日本政府観光局 JNTO の統計によると 2000 年では 4,757,146 人であった訪日外客数が 2014 年では 13,413,467 人と 14 年間で 3 倍に増加しています。また富士山静岡空港からの外国人観光客も増加傾向です。そのため旅行中に体調を崩し病院受診する者も増加することが予想されます。また医療を受けるために日本を訪問する方もいるでしょう。外国人が日本に旅行したとき、住んでいたとき、「静岡にいて良かった。」「日本の健康相談や検診はこんなに親切だった。」「病院では治療だけでなく予防についても教えてくれた。自国に帰ってから友達に話したい。」などと感じてもらえることができれば、静岡県の観光産業の発展にもつながり、日本・外国問わず、地域住民の健康や豊かな生活にもつながっていくように思います。ボランティアスタッフとして参加させていただきありがとうございました。

出展 日本政府観光局 http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/visitor_trends/

外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

静岡県立大学

看護学部 2 年 鈴木 静恵

今回、学生ボランティアとして、初めて外国人検診会に参加し、貴重な体験をさせていただきました。私は血液検査の補助を担当させていただきました。看護師さんの医療現場での採血を見学させていただき、初めての体験でしたのでとても感動しました。最近、学校の演習で採血の授業をしたばかりでしたので、とても勉強になりました。

様々な外国人の方を見させていただいて、普段検診に行けない方、お子さんの自分自身も健康問題を抱えていた方、日本語が難しく、通訳がいないと上手く会話ができない方、様々な方がいらっしゃるということが分かりました。このような無料検診会を通して、外国人の方の健康意識を高め、豊かに生活することができきっかけになるのではないかと感じました。

また、外国人通訳ボランティアの方が見られ、このようなボランティアに参加することで、外国人のかたも地域に貢献し、地域とのつながりを持つことで社会的役割を持ち、地域のネットワークを広げていくのにも役立つのだなと感じました。

血液検査では、検診者の中で多くの方が採血に不安を感じ、苦手意識をもっていらっしゃるように感じました。母国では、採血をする文化がなかったり、針を腕に刺すということに抵抗感があったりするのかなと感じました。

このような学びの多く、有意義な時間を過ごせたことにとても嬉しく思います。ありがとうございました。

外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

静岡県立大学 看護学部 2 年
馬淵涼子

この度は外国人無料検診会のボランティアに参加する機会を頂き、ありがとうございました。

私は耳鼻科での検診のお手伝いをさせて頂きました。そこで一組の親子に会いました。子供が中耳炎にかかっていたそうで、どの程度まで治っているか、もし症状が続く場合はいつ頃再受診するべきかなど、母親は心配そうに、通訳士を通して医師に確認していました。母親の様子から、ほとんど日本語がわからず、通訳士の力がなければ会話が難しい状態にあると考えられました。話を聞いていると、母親は以前、胆嚢の手術を別の病院で受けたのですが、そのときは通訳士がいなかったそうです。おそらく理解が十分にできないまま手術に臨んだのではないかと思います。そのときの母親の抱える不安は計り知れないものであったと思います。また慢性鼻炎も患っており、医師によると、あまり良くない状態で、ひどい鼻づまりやくしゃみで苦しいはずだと診断されていました。処方された薬が効かなくても、うまく伝えることができず、そのまま処方される薬の使用を続けていたそうです。また子供の通院を優先して、自分のことは後回しにしていました。点鼻薬の副作用についても知らなかった様子でした。もしこの健診会がなかったら、親子は不安を抱えたまま生活を送ることになっていたのではないかと思います。今回、医師と通訳士との十分な話し合いのもと、子供の病気の程度を知る、母親自身の診断ができ、医師からの内服薬の変更指示をもらうなど多くの情報を得ることができたと思います。最後、母親はとても安心したような表情をしていました。

様々な言語の通訳士がそろって、外国人無料検診会が行なわれることで、外国人が抱えている不安を取り除くことができることを実感しました。この検診会を受けて、安心した外国人はこの親子だけではないと思います。検診会に参加して、外国人が抱える悩みや不安を知ることができたとともに、検診会をひらくことがどれだけ重要であるか理解することができました。しかし今回の検診会に参加した外国人はほんの一部であると思われます。こういう機会を設けていても、大人だと我慢したり、忙しくて市販薬で済ませてしまったりすることが考えられます。外国人の健康を守るためには、こういった無料の検診会を多くの病院で実施したり、機会を増やしたりして、より多くの外国人が参加しやすい状態をつくる必要だと感じました。また病気の治療方針の決定、手術を行うといった、重要な説明が必要な場合は診療通訳支援者を派遣してもらうこともできます。しかしこういった制度を知らない人、知っていてもどのように利用していいかわからない人がいると考えられます。この検診会のように外国人が集まる機会、この制度について説明した紙を配布する、通訳士から伝えるなどして、利用してもらうことで、日本語がわからなくても、安心して治療を受けることが可能になり、不安なまま治療に臨むことが少なくなると思います。

外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

静岡県立大学
看護学部 1 年 星野真実

私がこの無料相談と検診会のことを知ったのは2015年の9月に静岡済生会総合病院で実習させていただいたときでした。病院についての説明をしていただいた際に済生会の理念と一致するこの検診会について教えていただきました。私の住んでいる市では日系ブラジル人等外国人の方が多く、これから看護師となり仕事をしていくうえで必ず関わることになると考えられるのでとても興味がありました。その後、大学からこの検診会へのボランティアに参加できるというお話をいただき参加することが出来ました。私はこの活動に参加することで多くのことを体験し学ぶことが出来ました。

当日私は整形外科と腰痛体操の受付を担当しました。その際、私が未熟なところが多く至らなかったこともありましたが周りの方に助けをいただきやり遂げることが出来ました。受付の主な仕事は受診者の確認、誘導、腰痛体操のアンケートの記入補助などがありました。受診される方は主にアジアの方と南米の方が多く来院されていました。また静岡県内だけではなく愛知県から来られたかたも見かけました。このことからこの活動がとても外国人の方にとって関心の強く意味のある活動であると感じました。また前回の参加者等から口コミにより来院された方も多かったので継続することにより参加者が増えると実感することが出来ました。腰痛体操のアンケートについては日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の4カ国語を用意してありほとんどの方は自分で記入されていましたが文字の読めない方も来院されていたのでアンケート記入の補助は必要な役目であると思いました。この検診会では通訳の方がついてくださりその面ではスムーズに進むことが出来ました。

それとは反対にあまりスムーズに行なえなかった面もいくつかありました。来院された方のチェックやアンケート記入の際に筆記用具がなく持ってきていたペンを使うことで解決することが出来ました。次回からは診療項目ごとに筆記用具を用意するなどの事前の準備が必要であると考えました。また腰痛体操ですが一度の体操の時間が長く PT の先生の昼食を食べる時間が無くなってしまうことや多くの方をお待たせしてしまっていたのでその面での改善は必要であると感じました。

私は医療チームのボランティアとして参加し、多くのことを学ぶことが出来ました。実際に各医療職やボランティアの連携が目の前で見ることができ、体験させていただいたことにより他職種連携の重要性を改めて認識することが出来ました。また日本に住んでいる外国人の方には保険がいきわたっておらず普通に受診するだけでも高額な医療費がかかってしまうのでその点の解決が必要であり、今回の検診会においても保健相談の窓口があることがその一歩となっていると考えられ大切なことであると思います。私が看護師となる過程またなった後においてこの経験を生かしていきたいと考えています。

外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

静岡県立大学短期大学部

歯科衛生学科 教員 中野恵美子

今回の検診会には、本学歯科衛生学科の2年生8名、1年生2名、歯科医師教員2名と歯科衛生士教員1名（私）で参加させていただきました。なお、例年検診会日程と私が所属する学会開催日程が重複し、なかなか参加の機会が得られませんでしたので、私自身は今回が念願かなっての初参加でした。

朝の集合時、会場の静岡済生会総合病院の1階はほどよい緊張感と熱気にあふれており、多くの方々の熱意で18回もの継続が可能となっていることを実感いたしました。

歯科のブースは、静岡済生会総合病院の歯科診療室をまるごとお借りし、病院歯科衛生士のご協力のもと、3台の歯科診療チェアで歯科検診および健康相談、歯科保健指導等が行われました。学生は歯科の受付、検診器材の準備と片付け、歯科検診の記録、ブラッシング指導等の歯科保健指導を分担し、私は学生のサポート役に回りました。

言葉の面では、通訳ボランティアの方々がいらっしゃいましたので安心でしたが、受診者は日本語を話せる方が多く、実際に通訳をお願いした場面は予想したほど多くはありませんでした。またご家族で受診され、お子さんが親御さんの通訳をされていらっしゃる場面も見受けられました。

受診者のお口の中の状況は、問題がなく、お手入れも行き届いている方もいる一方、治療が必要な虫歯や歯周病などがある方も少なくありませんでした。その中で、歯石が多量に付着し、歯肉も腫れていた方に歯科医師が受診を勧めた際、「お金がかかるから…」と苦笑いされていたのが印象に残りました。医療保険には加入していても、日本語が母国語でない方にとっては「現在の口の中がどのような状況か」「現時点でどのような治療が必要か」「何回くらいの通院を要するのか」「自己負担金はどのくらい必要なのか」「治療しないことを選択した場合、今後どうなると予想されるのか」等の受診の基準となる情報、さらに「口の健康を保つための予防方法」に関する情報を得るのは難しく、医療者側も通訳者等を介さなければそれらの情報を十分には提供できないということを理解しました。また、歯科のみならず、高齢化するご家族の今後にも気になりました。

今回の参加は、学生にとっても、そして私自身にとっても、歯科および歯科衛生の課題を知る貴重な経験となりました。今回の経験をもとに、検診会で、そして地域の中で、今後何ができるかを考えていきたいと思います。

外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

藤枝市立総合病院
看護師 橋本 圭子

今回初めて無料相談会のボランティアとして参加させて頂きました。

問診の担当となったこともあり、どのくらいの人数や国籍の方が参加されるのか、十分な対応ができるのかなど不安がありました。実際は、医療通訳ボランティアの方の協力があったこと、日本語でのコミュニケーションが可能な方が多かったこともあり無事に終えることができました。地域の特性もあって、予想以上に学生の方が多かった印象を受けました。また、家族を連れての相談の方も多く、日本語でのコミュニケーションが困難な家族が日本で生活することも大変なことだろうと感じました。

私自身海外で生活した経験があり、他国で医療機関を受診することの困難さを実感しています。小さな不調なら見送り、できるだけ受診せずに済むよう考えたものでした。体の不調は不安が大きいものの、細かい部分を言葉で説明することは難しいものです。問診での聞き取りも詳細な情報を聞き出すことに難しさを感じました。

私の担当した方々の相談内容としては、腰痛や不眠などの訴え、現時点では大きな健康問題はないが定期検診として受診している方が多く見受けられました。一度受診の経験があると続けて受診する方も多いようで、定期健診の場があることで安心につながっているのだと感じました。市内だけではなく市外や遠方から来ている方も居て、このような場が少ないことも表しているのだと思います。私自身この検診会の存在を知らなかったように、まだ知らない外国人の方々も多くいることでしょう。より多くの外国人の方々に知っていただき、受診の機会につなげて欲しいと思いました。

今回の参加を通して、日本で生活する外国人のための医療というものを考える機会となりました。実際の病院業務の中で外国人の方を対応することが少ないこともあり、身近なこととはとらえていませんでした。しかし、母国以外で医療を受けることは簡単ではないと改めて実感しました。直ちに自分の業務に活かすというわけにはいきませんが、知ることで自分の世界を広げることができました。初めての参加でしたが、一緒に活動したスタッフの方々とも楽しい時間を過ごすことが出来ました。今後もできる限り参加させて頂きたいと思います。貴重な機会をありがとうございました。

18回目の検診会に参加をして

看護師 大西つたえ

今回で18回目を迎えた静岡市の外国人無料検診会ですが、私は途中2回お休みをし、2回目から15回参加させていただいています。初めの数回は会場をボランティアスタッフが前日に設営して開かれました。懐かしいです。現在は会場も定まり、年々改善され随分やりやすくなりました。

18回目が終わり感じたことをまとめてみます。

まずは受診者の出身国の変化です。以前は中南米出身の若い労働者が圧倒的に多く会場を走り回る通訳さんの姿をよく見かけました。受診者にもボランティアスタッフにも毎年参加する人があり、年に1回の検診会で会話こそありませんでしたが、あいさつを交わし合ったりしていました。最近ではアジア出身の若い家族連れの方が多く見られます。そして家族・仲間の中に日本語が堪能な方がいて通訳をする、という風景がみられるようになりました。

もうひとつ感じたことは、受診者の減少です。この18年の間に他国籍の方達への待遇は多少変化・改善されているのか又は世界情勢の変化が関連しているのか事情は分かりませんが。それでもこの会が18年にもわたり続いているという事は、常にこの場を必要とする人達が私達と共に地域で生活をしているという事です。静岡で生活する他国籍の方達の健康を守ることにつながるこの検診会が、今以上にすそ野を広げていくことを心から願います。

最後に、10年以上に渡りこのボランティアを続けてこられたのは、参加することで受診される方達やボランティアのスタッフから大きなパワーを頂く事が出来るからだと思います。海を渡り静岡に来られ生活をしている受診者の方達からは生きるパワーを、ボランティアのスタッフの方達からは他を受け入れるパワーをいただきます。日常の糧の1つとさせていただき次の検診会へ参加をすることにつながっています。

今後はどのような変化を見ることが出来るのか楽しみに参加させていただきます。

感 想

通訳ボランティア・ポルトガル語

永 岡 繁

第18回外国人無料検診会開催有難うございます。

第18回も休みなく継続的されている貴団体の苦勞は並大抵のものではないと頭が下がる一方です。ずっとこれからも続けていかれる事を心から祈る次第です。

この検診会に参加し始めて早7～8年になるかと思います。毎回、事前研修会を開催していただき、いつも新しい事を学んでいる事を嬉しく思います。また 検診会自体もいつも変わった事を学んでいて、私のためにもなっていると身に感じています。

今回の場合は藤枝市にお住まいの日系ブラジルの親子で子供（10歳）が特別クラスで勉強していて、この子はこのクラスに適応していないのではと言われていたそうです。学校からここの検診会に行って相談してみなさいとお手紙を頂いて来たそうです。小児科の杉浦先生は、母親から色々と聞きながらなかなか難しい状況にあると判断して即座に立って行き、福井エミリアさんと戻ってきて相談に乗って下さいました。

結果的に、後日子供の知的能力検査などして市の教育委員会に相談してどう対応するかとまでにこぎ着けました。誰に相談していいのか悩んでいたのが、一挙にこの対応で母親はとても喜び、ものすごく嬉しそうな顔をされたのが印象的でした。このように誰かの為になれるのがこの検診会の醍醐味だと思います。

余談：

私が投稿しているフェイスブックで無料検診会を「無料検診本当に良いことなんでしょう？働いてない外国人の方が検診に行ってるのですか？」とコメントがありました。

しかし「一言に良い事と言えない所はあります。例えて言うならこの検診会に来る外国人で勤務先の社会保険を回避してくる人もおりますし、政府が緩いから社会保険を与えない派遣会社も巷にウジャウジャあるし、その反面本当に不可抗力で社会保険に入れない、または診察費も払えない人も居るかもしれません！！」と答えました。

そして「私が対応した家族は 此处に来るように言われて来て何らかの解決策に導かれようとしているので母親はものすごく感謝していました！！」と答えました。

私はこの外国人無料検診会は**色々な事情で医療制度を受けられない人達の為**に続けて欲しいと思います。

第 18 回外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

通訳ボランティア・ポルトガル語

ホリウチ アリッセ イズミ

本年度は、医療通訳ボランティアとして参加したのは 16 回目になります。今回の検診会では、内科、整形外科、婦人科を中心に通訳しました。また、女性受診者に男性の通訳が付いた場合、婦人科を受診する時は、必要に応じて私が代わりに通訳するようにしました。通訳同士のチームワークがうまく出来ていたことと、女性受診者らは「ありがたい。」と安心した表情で話していた点では良かったのではないかと思います。一方、11 時半位から非常に忙しくなってしまう、通訳が必要な受診者、または婦人科を受診する受診者を事前にしっかり把握しておけば、もう少し丁寧な通訳ができたのではないかという反省点を感じました。

毎年、検診会に参加されている関係者の方々との再会は楽しみです。今回の検診会では、「去年は来れなかったけど、今年は来れてよかった!」、「去年、通訳してもらった時の先生からのアドバイスを実行してから体調がだいぶ良くなりました。」とブラジル人受診者から聞き、検診会の意義を改めて実感しました。次回の検診会のために、微力ながらお手伝いできればと思いました。

一方、参加されている通訳ボランティア仲間との話からでも、年々と若い世代のポルトガル語医療通訳を育ていく必要があることを実感しています。普段は医療通訳とは縁が無いことから、11 月 1 日の医療通訳研修会（主催：静岡県国際交流協会）に参加させていただきました。研修会での医師のお話、グループディスカッションでの実際に病院で医療通訳として働いている方々から情報交換ができ、学ぶことが多くありました。このような機会に、若い世代の医療通訳への関心を持たせたり、受講しやすい環境や体制などを整えるために、公的機関の力を借りながら、私達 1 人 1 人が協同で何が出来るだろうか、という課題を感じました。

最後に、私事ですが、2000 年度の検診会は出産のためお休みしたという思い出があります。今年 11 月に娘は 15 歳の誕生日を迎えました。ブラジルでは、女性が 15 歳になると、大人の女性 “moça” としてのデビュー “debutar” を行うという意味があり、盛大に祝福します。また娘を出産した病院は、今回の検診会の会場となった静岡済生会総合病院でした。不思議な縁と、時の流れの早さを感じた、という思いで今年は参加させていただきました。

HORIUCHI, Alice Izumi/ Intérprete Médico Voluntária da “Consulta Gratuita Sobre a Saúde e Atendimento Médico” Ano2015.

外国人のための無料健康相談と検診会に参加して

ヒッポファミリークラブ
原 真衣

私自身初めて参加させていただいた、外国人のための無料検診会、いろんな国の言葉を人との間で育て合う活動をしている私にとってどんなお手伝いができるのだろうか(*'▽')ワクワク参加させていただきました。

外国人との関わりだけでなく、医療関係や事務関係、専門通訳の方や大学生や一般の様々な方がこの検診会のために尽くされている姿を拝見でき、温かいものを感じました。

実際に検診が始まると、それぞれの分野で活躍している姿がとてまかっこよく、その中の一人に自分も紛れているんだと思うと背筋が伸びました。

本当に通訳が必要な方には、マンツーマンで専属通訳さんがついていたので私自身のお手伝いは、検診に回る方々をスムーズに案内することで日本語での案内で十分事足りる感じでしたが、案内しながら少し歩く合間で、その国のあいさつや知っている言葉を話したり、わからないときは聞いたりして話してみるとふわっとやわらかい笑顔を見せてくれました。たった数秒の出会いの中で、どこに行っているのかわからなく迷っている方には、緊張が解けるお手伝いが出来たのかもしれないな～と思いました。そう思えたのも、案内をして別れる最後に『ありがとう。』と私の言葉（日本語）で言ってもらった一言が、とても温かく心に響いてきて嬉しい気持ちと優しい気持ちになれたからです。

相手のことばを大切にすることは相手を大切にし、相手の文化を受け入れること。

検診に来る方はすでに日本で生活し、日本語を自由に使えるかもしれない、でも健康相談や検診という多少の緊張や不安、また多くの初対面の人と関わりや慣れない場所への緊張をほんの少しでも相手の言葉で解くことが出来たら私の役割は大きかったのかなと思います。

また来年お手伝いさせていただく時、またあの笑顔に会いに行きたいと思います。

平成 27 年外国人のための無料健康相談と検診会 医療チームの実施後の意見

医療チーム 北島和子

1 問診

- ・生年月日が違っていた人が 1 名あり
- ・名前が違っていた人が 1 名あり
- ・名前のスペルの間違い、カタカナ名の間違いの指摘が 4～5 名あり
- ・問診の見本がほしい（事前に目を通しておきたい）

2 尿検査

- ・尿検査用ラベルの使い道がなかった
- ・各項目の実施確認のチェックが落ちていた

3 身長・体重・体脂肪測定

- ・電卓が必要（体重は 500 g を引く）
- ・測定手順を書いたカードがあるとよい 「靴を脱いで①身長測定②体重測定③体脂肪」
50×200 cm の大きさ
- ・体脂肪、BMI の基準値表があるとよい
- ・必要物品・・・アルコール綿、マット、ゴミ袋、ボールペン

4 聴力検査

- ・検査結果記録紙は本人に渡して良いのではないかな？

5 内科

- ・内科診察前には、計測、尿検査を済ませておいてほしい
- ・医師が 5 名でありスムーズに診察ができた
- ・ペンライトが必要

6 最終受付

- ・アンケートを記載するのに時間がかかるため、担当者がひとり必要ではないか
- ・カルテファイルにはカルテなど検診会の書類と検査結果表や指導書などが一緒にファイルされているため、検診者の結果表と指導書は忘れずに返す

今年度を振り返って

外国人無料検診会実行委員会

事務局次長 松谷 清

2015 年度外国人無料検診会は、事前申込み 56 人、当日申込み 16 人、計 72 名の受診者を受け入れて無事に終わることができました。

受診者は昨年より減少しましたが、今後もこの活動の社会的必要性を確認することができる十分な結果であったと受け止め、来年度に向けて様々な議論を進めているところです。静岡県内での帰国によるブラジル人の方々の大幅な減少、一方で焼津市を中心に水産加工現場で増加しているフィリピン人の方々など県内に在住する外国人の状況も大きな変化の中にあります。これは受診者の中にフィリピン人の方々増加として現れています。アジアを考える静岡フォーラム主催での県立大学の高畑幸先生の勉強会で、静岡県内のフィリピン人の増加に関する分析をいただきました。過去にジャパニーズベイビーとして社会問題化した日本国籍の父親を持つフィリピンの子供たちが国籍法の改正で日本国籍が付与され、フィリピン籍の母親の来日が自由になっていることの背景にあるとのことです。この現状については、毎日新聞で3回連続の特集記事となりました。

毎年の資金確保については、アジアを考える静岡フォーラム主催の8月30日チャリティコンサートが英和女学院からの礼拝堂の提供を頂き、そこへの静岡大学の吹奏楽部や英和女学校ハンドベルサークルの毎年のボランティア出演、そして外国人の人権、共生の問題に関心を持っていたいいる観客の皆様を支えられ今年も成功しました。また、やや少なめでしたが企業の社会貢献活動として広告掲載や、チャリティコンサート会場での、外国人無料検診会会場でのご寄付もありました。そして、済生会病院、静岡カリタスのみなさまから多額なご寄付をいただくなど、心配されていた資金確保も例年通りの状況となりました。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

私たちの活動も様々な社会活動への影響や広がりとして認識することができます。例えば、静岡県国際交流協会と済生会病院による2016年1月16日の通訳勉強会、外国人医療を考える会による主催の2月21日の第8回ワークショップ「在住外国人の緩和ケア・終末期医療を考える」、アイセル21主催の3月8日の「外国人女性が抱える問題と支援の課題」など外国人無料検診会実行委員会に関わってくださっている皆様がそれぞれに活躍されています。ソーシャルワーカーの皆さんによる相談、受診者の方が対象の栄養相談や静岡市の国民健康保険相談など検診会とともに準多角的な分野からのアプローチも継続していかなければなりません。

新たな気持ちで来年に向けた準備を始めていきたいと考えます。

検診会の目指すもの

実行委員会副代表

山田 隆之

2015 年の「外国人のための無料健康相談と検診会」は、72 名の受検者と昨年に比べ 20 名の減少となったが、検診会当日の運営は、昨年はボトルネックとなった登録作業も順調に進み、課題の一つを改善することができた。ここ数年の受検者数は増減を繰り返しているが、一時の落ち込みからは明らかな回復傾向を示している。

訪日外国人の政府目標 2 千万人は、2020 年を待たずに前倒しでほぼ達成される勢いを示し、益々増加傾向を強めている。しかし、ともすれば観光客を中心とした訪日外国人に注目されがちであるが、少子高齢化に伴う人口減少社会にあって、今後我が国の労働力の一翼を担うことになる長期滞在（定住）の外国人との共生は、重要な課題になりつつある。

世界に目を向ければ、過激派組織 IS の台頭から、シリアを中心としたヨーロッパの難民問題がクローズアップされてるが、地理的な問題もあって、日本にとっては対岸の火事といった認識が強い。しかし、日本がこのまま局外者であり続けることが出来るかは、大いに疑問である。

そんな現状を反映してか、検診会に参加したボランティア医師に、日本に対する失望感を口にされた受検者がおられたようで、私たちが何処まで異なる人種、宗教、習慣等に寛容であるかが問われるいるのではないのでしょうか。

外国人観光客の取り込みやイスラム諸国への商品の売り込みという視点から、ムスリム（イスラム教徒）のハラール（イスラム法上許されたもの）に関心が行ったりしているが、異なる文化への関心と寛容な意識・態度とは、いささか趣が違う様に思える。

さて、人が老いて病むということは、誰にとっても変わり無く訪れるます。若くても、事故でけがをすることもあるでしょうし、妊娠出産にはそれなりのリスクも伴います。子供がはやり病にかかることは避けられないし、傷病の世界は人種や宗教、文化の違いを超えています。

最近では JMIP（外国人患者受入れ医療機関認証制度）を取得する医療機関や、医療通訳拠点病院の指定など、制度的に外国人医療の確保が動き始めているところもあります。しかし一方では、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が発効すれば、日本の国民皆保険制度が重大な影響を受けるのではないかという懸念も指摘されています。

これまで日本が作り上げてきた、医療、保険制度の優れた部分を継承しつつ、それらを在日外国人とも共有し、より安心して生活のできる社会を守っていかなくてはなりません。単に外国人に検診の機会を提供するだけでなく、検診会の活動をアピールすることで、広く地域住民に日本の医療、保険制度に対する認識を深めてもらう機会にもなるのではないのでしょうか。



理学療法士（奥）からアドバイスを受ける外国人の受診者＝静岡市駿河区の静岡済生会総合病院

外国人に無料検診

駿河区 ボランティアが通訳

外国人のための無料健康相談と検診会（同17カ国72人が訪れ、通訳を介しながら検査）が15日、静岡市駿河区の静岡済生会総合病院で実施された。中部地域の言葉の壁などを理由に医療サービスを受けられない外国人のために、医師の診察を受け

に続けられ、こととして18回目。この日は医師、

看護師、学生、通訳ら100人以上のボランティアが運営に携わった。受診者の国籍はブラジル、フィリピン、中国、ミャンマーなどさまざま。血液検査などに加え内科、婦人科など希望した診療科を回った。腰痛や生活習慣病の予防についてアドバイスを受ける場面も見られた。

スリランカ出身の同市の専門学校生ケネディ・マリーさん（28）は「食事での注意点も学んだ。検診を受ける機会がなかったのだから」と話した。

静岡新聞の記事より

11月17日（火）

検診会の様子が報道されました

10月15日（木）

外国人医療関連記事

医療通訳拠点病院について

平成27年(2015年)10月15日(木曜日)

責争

店

立院
市病
田合
磐総

外国人患者の受け入れ強化

医療通訳拠点病院に

磐田市大久保の市立総合病院がこのほど、医療通訳を配置した「外国人患者を受け入れ医療通訳拠点病院」に認定された。県内では初。厚生労働省が外国人患者の受け入れ体制強化を目的に進める環境整備事業に連動した制度。



認定証を受け取った北村宏市病院事業管理者（左）と鈴木昌八病院長＝8月下旬、磐田市大久保の市立総合病院（市提供）

制度は来日外国人の増加や2020年の東京五輪開催などを踏まえて、外国人が安心して受診できる医療機関を「患者サビラ」組織体制と管理など四つの観点から評価する。現在、全国で19カ所が拠点病院に認定されている。

同病院はポルトガルなどが評価された。今語とスペイン語の医療後、周辺の医療機関が通訳の配置や、中東遠外国人患者を受け入れ地域で最も多くの外国人患者（月平均30人）やアドバイスなどの協力を進めようという。

FREE HEALTH CONSULTATION AND CHECK-UPS CONSULTA GRATUITA SOBRE A SAUDE E ATENDIMENTO MEDICO

ガイコクジン

ムリョウケンコウソウダン

ケンシンカイ

外国人のための無料健康相談と検診会

DATE:2015.11.15 (Domingo・Sun)
10:00~14:00

Place:Shizuoka Saiseikai Sogo Byoin
(Shizuoka-shi surugaku Oshika 1chome 1-1)

日 時: 11月15日(日)
10:00~14:00

場 所: 静岡済生会総合病院
(静岡市駿河区小鹿1丁目1-1)

Estacionamento gratuito para 50 carros / The free parking place for 50 car / 無料駐車場50台有

To those who will take free health check-up
The results of the health check-up carried out by Committee of Free Health Consultation and Check-up at Shizuoka Saiseikai General Hospital will be utilized for further purposes in addition to the initial one.
The results may be used for treatment, prevention, consultation / guidance of health care for those who have taken the check-up, or as anonymous data for statistical and other research.
If you consent to these conditions, you will be entitled to take the health check-up.

検診をお受けになる方へお願い

静岡済生会総合病院において実施する検診会主催の各種検診結果や精密検査結果は、検診本来の実施目的以外にも受診者ご自身の今後の治療や予防、保健指導や健康相談時、並びに特定の個人が認識されることがない方法で統計・調査研究を実施する際に利用いたします。上記内容についてご承諾のうえ、検査をお受けいただけます。

A consulta é gratuita, porém, cobramos 200yens como despesa de correspondência, para as pessoas que fizerm inscrição prévia. Favor pagar no dia da consulta. Para as pessoas sem inscrição prévia, cobramos 500yens no dia da consulta.

Los exámenes médicos son gratis. Es necesario pagar la cantidad de 200yenes para los gastos de correo. (Pagarlo en la recepción el día de sus exámenes médicos). Las personas que no hagan la solicitud con anticipación tendrán que pagar 500yenes.

The health check-up is free, but we will charge you 200yen for communication fees per person. Please pay at the reception desk on the check-up day. For those who have not applied in advance, we will request a small fee of 500yen at the application.

検診費は無料です。通信費としてお一人200円をいただきます。(当日受け付けで支払ってください) 事前の申込みが無い方には500円いただきます。



基本科目 + 検診科目 Exame Basico

●基本科目 Exame Basico



- 内科 Clinica geral / ●小児科 Pediatria / ●レントゲン Raio-X
- 整形外科 Ortopedia / ●婦人科 Ginecologia / ●耳鼻科 Otorrino laringologia
- 歯科 Exame odontologico / ●心の相談 consulta psiquiatrica
- 医療相談 consulta general / ●保険相談 consulta sobre seguro

Chikyu-house, 3-3-1, Takajo, aoiku Shizuoka-shi 〒420-0839
TEL 054-209-5682 FAX 054-209-5675

ガイコクジン

ムリョウケンコウソウダン

ケンシンカイ

主催 / 外国人のための無料健康相談と検診会

-CONSULTA GRATUITA SOBRE A SAÚDE E ATENDIMENTO MEDICO-

-CONSULTA GRATUITA SOBRE SALUD Y ATENCION MEDICA -

-FREE HEALTH CONSULTATION AND CHECK-UPS-

外国人のための無料健康相談と検診会

私達は医療保険制度の勉強をしているグループです。会社や地域で健康診断を受けていない方のために保険や費用、言葉の心配なく受けられる検診会を開きます。是非この機会に健康をチェックしてみてください。

- Somos um grupo que estudou o sistema de seguro médico no Japão. Para aqueles que não tiveram a oportunidade de fazer o exame médico no trabalho ou em sua comunidade, estamos organizando uma consulta médica sem se preocupar com a língua, ou seguro de saúde, ou o custo da consulta. Aproveite esta oportunidade para fazer o seu check-up médico gratuito..
- Somos un grupo que estudiamos el sistema de seguro médico de Japón. Para los que no han tenido la oportunidad de hacer el examen médico en su trabajo o en su comunidad, estamos organizando una consulta médica sin necesidad de preocuparse del idioma, ni seguro médico, ni el gasto de la consulta. Aprovechen esta oportunidad de realizar su chequeo médico gratuita.
- We are a group interested in studying the health and Insurance system of Japan and its problems. For foreigners living and working in Shizuoka who may not have another opportunity at their work place of neighborhood, regardless of whether you are insured or not, you can participate without worrying about language (there will be an interpreter) or costs.

2015.11.15 (DOMINGO·SUN) 10:00 ~ 14:00

Shizuoka Saiseikai Sogo Byoin(Shizuoka-shi Suruga-ku Oshika 1chome 1 - 1)

静岡済生会総合病院 (静岡市駿河区小鹿1丁目1-1)

Aceitamos até 200 pessoas / Limitado a 200 personas

Limit of 200 people / 定員 200 名です

検診費は無料です。通信費としてお一人200円をいただきます。(当日受け付けで支払ってください) 事前の申込みが無い方には500円いただきます。

__A consulta é gratuita, porém, cobramos ¥200 yens como despesa de correspondência, para as pessoas que fizerem inscrição prévia. Favor pagar no dia da consulta.

Para as pessoas sem inscrição prévia, cobramos ¥500 no dia da consulta.

__Los exámenes médicos son gratis. Es necesario pagar la cantidad de 200 yenes para los gastos de correos. (Págenlo en la recepción el día de sus exámenes médicos.)

Las personas sin la inscripción previa, tendrán que pagar 500 yenes, el día de la consulta.

__The health check -up is free, but we will charge you ¥200 for communication fees per person. Please pay at the reception desk on the check-up day.

For those who have not applied in advance, we will request a small fee of ¥500 at the applications.

当日は50台分の無料駐車場があります

__Havera estacionamento gratis para 50 carros.

__Estacionamiento gratuito para 50 carros.

__Free parking is available for 50 cars.

この無料相談と検診を受けたい方は、まず申込みが必要です。希望者は指定用紙に記入し、10月31日までに下記の住所に郵送してください(80円切手を封筒に貼ってください)

- ▶ Para consultas e exames médicos são necessários fazer reserva antecipada. Favor preencher o formulário anexo e enviar pelo correio ao endereço abaixo. (cole um selo de ¥80 no envelope). O prazo para a inscrição vence no dia 31 de outubro.
- ▶ Esta consulta es con reservación. Por favor llene el formulario anexo y envíelo por correo a la sgte. dirección. (Pegue una estampilla de ¥80) el plazo para el envío del formulario vence el día 31 de octubre
- ▶ To take part in these consultations, you must apply first. Applicants must fill in the specified form and mail it to the following address by 31 of October. (Put a ¥80 stamp on the envelope)



〒420-0839 静岡県葵区鷹匠 3・3・1 井口ビル 2A
外国人のための無料健康相談と検診会

〒420-0839 Shizuoka-shi Aoi-ku Takajo3-3-1 Iguchi-Build 2A

Committee of Free Health - Consultation TEL 054-209-5682 FAX 054-209-5675

当日は指定した時間に来ていただきます。普段着で貴金属は身につけないでください。

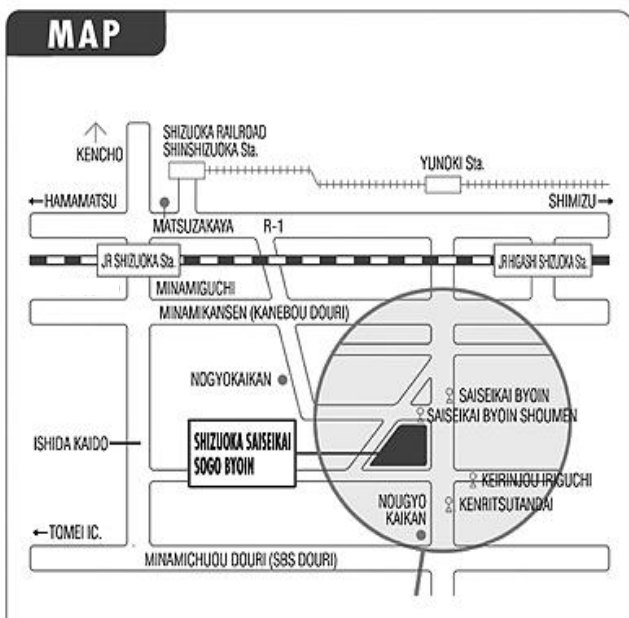
- ▶ As pessoas inscritas, favor comparecer com roupas simples, sem brincos, correntes, colares, anéis e pulseiras. Vir na hora indicada no cartão de confirmação.
- ▶ Las personas inscritas deberán presentarse con ropas simples sin usar ningún ornamento metálico. Llegar en el horario indicado en la tarjeta de confirmación
- ▶ On the day applicants are requested to come at the appointed time, wearing casual cloths and no metal jewellery.

検診科目は以下のとおりです。

基本科目・・・尿検査・身体測定・血圧・視力・聴力検査

- ▶ O exame médico está dividido nas seguintes seções:-Exame Básico・・・Exame de urina / Altura/Peso / Pressão sanguínea / Exame de vista / Exame de ouvido
- ▶ El examen médico está dividido en: -Examen Básico・・・examen de orina / estatura/Peso / presion sanguínea / Examen de vista / Examen de oído
- ▶ Consultation items : Basic items・・・Urine test / Height/Weight / Blood pressure / Eye test / Hearing test

選択科目は申込用紙にあります。 / ▶ As consultas ou exames opcionais estão impressos no formulário de inscrição. ▶ Tiene los Exámenes Opcionales en la Solicitud de esta tercera pagina. / ▶ Optional items are in the Application Form.



静岡駅北口から Shizuoka-Eki kita-guti
8番のりば 美和大谷線「済生会病院前」
11番のりば 小鹿線「済生会病院正面」
shizuoka station BusStop NO.8
Miwa ooya-sen "saiseikai- byoin-mae"
shizuoka station BusStop NO.11
Oshika-sen "saiseikai-byoin-shomen"
静岡駅南口から Shizuoka-Eki mimami-guti
21番のりば みなみ線「済生会病院」
shizuoka station BusStop NO.21
Minami-sen "saiseikai-byoin"
新静岡セノバから Shin shizuoka-SENOVA
11番のりば 美和大谷線「済生会病院前」
2番のりば 小鹿線「済生会病院正面」
Shin shizuoka-senoba BusStop NO.11
Miwa ooya-sen "saiseikai- byoin-mae"
Shin shizuoka-senoba BusStop NO.2
Oshika-sen "saiseikai-byoin-shomen"

もうしこみしょ
申込書 / Formulário Inscrição / Solicitud / Application Form

なまえ 名前/Nome/Nombre/Name			
こくせき 国籍/Nacionalidade/Nacionalidad/Nationality			
せいねんがっぴ 生年月日/Data de nascimento/Fecha de nacimiento/Date of birth			
ねんれい 年齢/Idade/Edad/Age		せいべつ 性別 / Sexo / Sex	おとこ M / おんな F
じゅうしょ 住所/Endereço/Dirección/Address		〒	
でんわばんごう 電話番号/Tel./Phone			
つうやく ひつよう 通訳が必要ですか？ Você precisa de intérprete? ¿Necesita de un intérprete? Do you need an interpreter?		(Sim / Si/Yes) / (Não/Non/No) Português /Espanhol/ English / 中国語/(others)	

▶ この検診会は何度めですか？ はじめて / 2度目 / 3度目以上
▶ Quantas vezes tem vindo a esta consulta gratuita?/¿Por cuanta vez es esta consulta? / How many times have you taken part in this consultation?
Primera / Segunda / Tercera First time / Second / Third

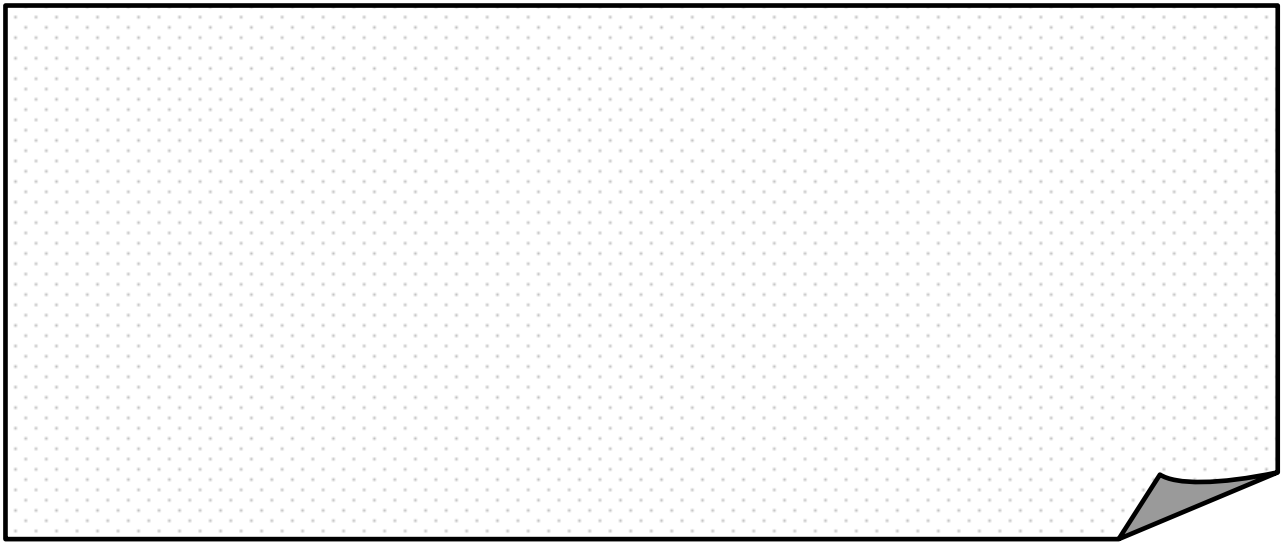
▶ 希望検診科目 / 希望するものに 印をつけてください。

Marcar com um “ ” a consulta desejada.

Marque con un “ ”.la consulta que desea hacer

Mark “ ” for the check-ups you wish to have.

ないか 内科	Clínica geral	Medicina general (Interna)	Internal examination	
しょうにか 小児科	Pediatria	Pediatria	Pediatrics	
れんとげん レントゲン	Raio-X	Rayos-X	X-Ray	
けつえきけんさ 血液検査	Examen de sangre	Exame de sangue	Blood test	
せいけいげか 整形外科	Ortopedia	Ortopedia	Orthopedics	
じびか 耳鼻科	Otorrino laringologia	Otorrino-laringologia	ENT	
しか 歯科	Odontologia	Odontologia	Dental check-up	
ふじんか 婦人科	Ginecologia	Ginecologia	Gynecology	
こころ そうだん 心の相談	Consulta psiquiatrica	Consulta psiquiatrica	Psychiatric consultation	
いりょうそうだん 医療相談	Consulta geral	Consulta médica general	Health Counseling	
ほけんそうだん 保険相談	Consulta sobre seguro	Consulta sobre seguro	Consultation for insurance	
ようつうきょうしつ 腰痛教室	Aula de lombalgia(dor lombar, dor na coluna)	Curso sobre lumbago (dolor de cintura)	The low back pain class	
えいようそうだん 栄養相談	consejo nutricional	Consulta nutricional	Consultation on Diet	



健診をお受けになる方へのお願い

静岡済生会総合病院において実施する検診会主催の各種健診（検診）結果は、健診(検診)本来の実施目的以外にも受診者ご自身の今後の治療や予防、保健指導や健康相談時、ならびに特定の個人が認識されることがない方法で統計・調査研究を実施する時に利用いたします。

上記内容についてご承認のうえ、検査をお受けいただきます。

< Português > Às pessoas que farão o exame médico

Os resultados dos exames médicos desta consulta gratuita a ser realizado no Saiseikai General Hospital de Shizuoka, além de seu objetivo principal, poderão ser utilizados nos tratamentos, prevenções, orientações e consultas sobre saúde posteriores do próprio paciente, e também como dados estatísticos e pesquisa. Quanto às informações pessoais prometemos manter sigilo absoluto. Por favor, estejam cientes das condições acima para fazer os exames médicos.

< Español > Aquellas personas que realizaran el examen médico

Los resultados de cada examen a realizarse en el General Hospital Saiseikai de Shizuoka, aparte de sus objetivos iniciales, serán también orientados al tratamiento, prevención, orientación y consulta de cada examinado, asimismo se utilizarán con fines estadísticos y de investigación, manteniendo la confidencialidad absoluta de sus datos personales.

El examen médico se llevará a cabo bajo su consentimiento, conociendo las condiciones aquí especificadas.

< 英 語 > The results of the health check-up carried out at Shizuoka Saiseikai General Hospital will be utilized for further purposes in addition to the initial one. The results may be used for treatment, prevention, consultation/guidance of health care for those who have taken the check-up, or as anonymous data for statistical and other research. If you consent to these conditions, you will be entitled to take the health check-up.

にほんご が すこしは わかる あなたへ

外国人無料検診会 チャリティーコンサート



静岡英和女学院ハンドベルクワイヤー

静岡大学吹奏楽団



2015 **8/30** [Sun]

OPEN 13:30 START 14:00

このチャリティーコンサートの収益は、
「外国人のための無料健康相談と
検診会」の運営費用に使われます。

日 時：11月15日(日)
10:00~14:00

場 所：静岡済生会総合病院
(静岡市駿河区小鹿1丁目1-1)

会場

静岡英和女学院 中学校・高等学校 礼拝堂
(駐車場が無いので公共交通機関でご来場下さい)

チケット

大人/前売 1,000円(当日1,200円)
学生/前売 500円(当日600円)
小学生以下無料

お問合せ

Tel.054-209-5682 Fax.054-209-5675
アジアを考える静岡フォーラム(静岡市葵区鷹匠3-3-1 地球ハウス)



主催 アジアを考える静岡フォーラム

後援 静岡県国際交流協会/静岡市国際交流協会/焼津市国際友好協会/藤枝市国際友好協会/島田市国際交流協会/静岡英和女学院 中学校・高等学校

後援 静冈県国際交流協会／静冈市国際交流協会／焼津市国際友好協会／藤枝市国際友好協会／豊田市国際交流協会／静冈英和女学院 中学校・高等学校

ざいじゅうがいこくじん かんわ け あ Palliative Care
在住外国人の緩和ケア(Palliative Care)・

しゅうまつきりょう End-of-Life Care かんがえる
終末期医療(End-of-Life Care) を考える

今回は、医療関係者、医療通訳、外国人と外国人医療に関心のある支援者の皆様で、緩和ケア (Palliative Care) ・End of life care について、考えてみたいと思います。是非、ご参加ください。



■□対象□■

外国人医療に関心のある医療関係者、医療通訳経験者、及び関心のある外国人、外国語が堪能な日本人、外国人、外国人医療に関心のある支援者・住民等

■□日時□■ 2016年 2月 21日(日) 13:00~16:00

■□会場□■ 静岡県立大学短期大学部 教育棟 102教室

(静岡県静岡市駿河区小鹿(おしか) 2丁目2番1号 地図参照)

〔公共交通機関〕 静鉄バス ★JR 静岡駅北口から 8 番のりば 美和大谷線(静岡大学または東大谷方面)、または小鹿線で「小鹿局前」下車徒歩3分、★JR 静岡駅南口から 21 番のりば みなみ線(曲金経由)で「小鹿局前」下車徒歩3分

■□ワークショップ内容□■

1. 日本での緩和ケア・End of life care 長谷通りクリニック 理学療法士 前野竜太郎
静岡県立大学短期大学部看護学科 前野真由美
2. 静岡在住外国人の緩和ケアに関する調査結果 前野真由美
3. 緩和ケア・End of life careに関する心配事を、皆さんで、明らかにしていきたいと思います。
4. 緩和ケア・End of life care に関する心配事の解決方法を、皆さんで、みつけることができればと思います。

■□参加費□■ 無 料

■ □申込み方法□ ■

当日、参加者名と電話番号等、教えてください。

がいこくじんいりょう かんがえるかい
外国人医療を考える会
だいひょう まえのまゆみ
代表 前野真由美
(静岡県立大学短期大学部)

E-MAIL : otoiawase@medfores.jp

TEL/FAX : 054-202-2678



2015年度外国人無料検診会実行委員会収支決算(見込み)

1. 収入

科 目	金 額	備 考
繰越	206,218	
済生会病院寄付	100,000	
検診当日寄付	7,927	
静岡カリタス寄付	100,000	
チャリティコンサート収入	227,996	
広告収入	10,000	企業CSR広告（1社）
受診者負担	19,200	事前56人 当日16人
報告集	20,000	40冊×500円
その他	33	利子等
収入合計	691,374	

2. 支出

科 目	金 額	備 考
検査費	0	済生会病院負担
駐車場	25,750	受診者利用
ボランティア運営費	48,480	ボランティア昼食券
事務通信費	72,368	通信・印刷等
ボランティア保険	3,640	
報告書作成	100,000	見込み
事務所負担費	120,000	1万×12か月
国際交流協会費	10,000	
電話代負担	20,000	
事務作業委託	10,000	
その他	0	
支出合計	410,238	

3. 次年度繰越金

281,136 円

2014年度外国人無料検診会実行委員会収支決算
(2014年4月1日～2015年3月31日)

1. 収入

科 目	金 額	備 考
繰越	139,241	
済生会病院寄付	100,000	
済生会札幌外務局寄付	19,600	
開催日寄付金	5,011	
チャリティコンサート収入	274,245	
広告収入	40,000	企業CSR広告
受診者負担	23,200	事前76人 当日16人
報告集	20,000	40冊×500円
その他	3,595	利子、預り金
収入合計	624,892	

2. 支出

科 目	金 額	備 考
検査費	0	済生会病院負担
駐車場	20,900	
ボランティア運営	52,320	ボランティア昼食券
事務通信費	52,894	通信・コピー等
ボランティア保険	3,456	
報告書	137,160	
事務所負担	120,000	1万×12か月
国際交流協会費	10,000	
電話代負担	20,000	
その他	1,944	手数料等
支出合計	418,674	

3. 繰越金 206,218 円

※2014年度は決算見込みの掲載だったので、改めて決算報告とします。



2016(H28)年 3 月 24 日発行

発行者

外国人のための無料健康相談と検診会 実行委員会

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A

TEL 054-209-5682 FAX 054-209-5675

印刷

株式会社ダイワ

〒422-8072 静岡市駿河区小黑 2-4-6

頒布価格:500 円